



## 最近の友だち関係を めぐる病理

東京学芸大学教授  
深谷和子

### 不登校問題から

先（1998年8月）に発表された「文部省学校基本調査」で明らかにされたのは、不登校（学校嫌い）が小中学校合わせて10万5千414人と、初めて10万人を突破したという深刻な状況だった。とくに中学生の不登校は前年度より1万人増加して1.89%（53人に1人）と、小学生の0.26%（385人に1人）より際だって多いことが報告された。

その原因をめぐって、新聞紙上には研究者や臨床家の様々なコメントが掲載されたが、中でも「根底に、人間が怖い感情が横たわっている（東京新聞8月7日朝刊）」とする、仲間集団からの逃避感情の指摘が目をつけた。「学校嫌い」のネーミングが示すように、昔は登校拒否が、学びの場としての「学校」からの回避感情と思われていたのだが、いまや学校ではなくて「友だち集団」を回避する

子どもの姿が見えてきたことになる。

そういえば、対人恐怖症の一種に「場面緘黙」と名づけられた問題行動がある。人前で「ものを言わない、口をきかない、人に対して過度に緊張する」などを主症状とする問題行動だが、緘黙の子どもたちは、おとなやうんと年下の子どもに対しては、学校という場を離れればしゃべるし、緊張も示さない。彼らは同年齢ぐらいの仲間たちとの関係を恐怖し回避しようとする。不登校の最近のメカニズムは、そうした子どもたちとも共通する「対人恐怖」症候群のように思われる。

### 「いじめ」とのかかわりで 見えてくるもの

子どもたちが最近、そこそこで出会っている「いじめ」の背景には、友だち関係における病理が横たわっている。

貧乏や病気、非行化傾向から学校へ行かな

かった不登校問題が、新しいタイプのいわば「心理的な学校嫌い」へと様相を変え始めたのは、日本では昭和30年代の後半からである。「登校拒否」と名づけられた問題行動の内容に、おとなたちは当惑した。ついこの間まで発展途上国だった日本では、「子ども時代、行きたくても学校へ行けなかった」おとなたちはたくさんいたが、「学校へ行けるのに学校に行きたがらない子ども」の出現は考えも及ばないことだった。臨床家は、学校要因、家庭要因、本人の性格的要因などにわたって、この新しい時代の病の原因を追求しようとした。それぞれのケースには、どの要因も少しずつ絡み合っているものの、当時の原因論では、とりわけ家族タイプや母子関係、自己像の問題などが主要なものとして論じられた。

しかし昭和40年代の後半ぐらいから、臨床家の間で「友だち関係のつまずき」に起因する登校拒否の発生が指摘されるようになった。今になって思うと、それは日本的な「いじめ」が子どもの間に広がり始めた時期であり、また「いじめ」ほど本格的なものではなくても、友だち関係のつまずきに耐えられない子どもが育ち始めていたことの現れだったのだろう。

しかし友だち関係のトラブルは、いつの時代も子どもの世界にはつきものである。学校へ行けないメカニズムが先行して、理由を問いつめられた子が苦しまぎれに「友だちがいじめた」を持ち出しているのではないかと、当時登校拒否の臨床にかかわっていた筆者も思っていたのだった。

ちなみに「いじめ」という語が広く市民権を得たのは、昭和58年の秋にNHKが「おはよう広場」でこの語を使って3日間の特集を組んで以来である。このときのディレクターの話では、放映中の3日間に2,500本の電話と400通の投書が寄せられたという。

このときすでに、子どもたちの住む世界は「いじめ」のある世界と化していたのだった。

## ★人を怖がる子どもたち

人が周りの人々と絆を結べない状況とは、他人に対する警戒心が強い状況を意味する。

人との絆とは、相互信頼である。信頼感とは、相手はいちばん深いところでは、自分を傷つけず、自分に味方してくれ、自分を支え、護ってくれる。自分のしたことを理解してくれ、大抵のことは許してくれ、決して自分を見捨てないという感情であろう。人との絆が作れない場では、他人は親和ではなく警戒の対象で、自分を護るための構えを解くことができない。友だちが怖い、集団が怖い症候群とは、言葉を換えれば、他人と絆が結べないでいる状態を意味している。

こうした「友だちが怖い・集団の中にいるとストレスや圧迫を感じる」子どもたちの出現は、最近になって起きた、大きな社会的変化、すなわち産業化、情報化、都市化、少子化などが、子どもの育ちを大きく変えてしまったことに一因があるだろう。

人はいつの時代も、ヒトの中で成長してヒトになるのだが、最近の子どもをとりまく成長環境は、それを阻んでいる。子どもはヒトの中で育たず、モノと情報の中で育つ。ヒトらしさ、すなわち仲間に関心を持ち、仲間と一緒に過ごしたいと思うなど、仲間を愛する心を学習する機会も持たないままに成長してしまう。子どもはヒトよりも、モノに近い人格形成を遂げていく。

最近の子どもはヒトを避ける、ヒトに対する共感性が希薄である、集団を避けるなどという指摘は、そうしたヒトの成長に適さない成長環境の中から生まれたものであろう。

## 中学生の調査データが示す 子どもの変化

そうした成長上の問題点を調査データの中からみてみよう。

1983年と1995年に全く同じ調査票を使って行われた中学生調査がある。12年間に中学生の意識はどう変化したか。(ベネッセ教育研究所「中学生は変わったのか」モノグラフ・中学生の世界 vol.51・1995)

この調査の中には、12年間の中学生の意識の変化の様々な側面が見いだされるが、その中に「心の絆が細くなった」とする指摘がある。表1はその抜粋であるが、心の絆の太さをみるために「あなたは次のような人が入院をしたときに、見舞いに行きますか？」とたずねて、以下のような5段階で回答を求めた結果である。

1. きっと行く
2. 行くかもしれない
3. かなり気がかり
4. 少し気がかり
5. なんとも思わない

表1 「入院したと聞いたら見舞いに行くか」  
'83年と'95年の比較

	'83年	'95年
同じクラスの仲良し	67.0%	> 59.8%
ふつうの友だち	19.4%	> 9.5%
担任	15.9%	> 9.6%
校長	5.0%	> 1.7%

(「きっと行く」割合)

表の数字が示すように、「きっと見舞いに行く」と答えた生徒の%は、どの相手についても大きく減っている。例えば同じクラスの仲良し(昔だったらさしずめ親友というべきだろう)には、12年前は67%が「きっと見舞いに行く」としていたのに、60%に落ちている。それでも仲良しはまだ減り方が少ないほうで、他の項目では半分に近い数字である。つまり他人の入院を「かわいそうだ」とか、「見舞いに行かなくちゃ」と感じる心が減ってきたことを示している。この数字は、他人との心の絆の弱まりを示す一例だろう。

## 「いじめ」の臨床から

臨床のデータにも同様のことが表れている。

最近の「いじめ」のパターンには、昔と比べて大きな違いがみられる。いじめは他人に対する攻撃行動の一種だが、昔の子どもも徒党を組んで相手を攻撃することはしばしばだった。とくに男子はそうだったらしい。しかし少なくともそのターゲットは、他の集団や集団外の個人であった。所属する集団の中のメンバーは保護していた。しかし今の「いじめ」の多くは集団内のメンバーをターゲットにして行われ、しかもその「いじめ」は、しばしばリーダーの指示で行われる。未熟なリーダーで、その多くは体格がよく、成績も悪いほうではない。成績のいい子の場合もある。

何かのきっかけでそのリーダーがターゲットを決める。何となくムカついた、目障りに感じたなどのきっかけで、他のメンバーにその子を見捨てるように言う。その子を見捨てることには、必ずしも毅然としなくても、メンバーはリーダーの指示にしたがってしまう。中には昨日まで親友同然だった子に対しても、見捨てを始めてしまう場合もある。「仲良し」

との絆は、必ずしも信頼していない未熟なリーダーの指示に屈してしまうほど今は細いものなのか。

しかも、たいていの場合にそのターゲットは移動する。リーダーが毎日または毎週、ターゲットの変更を指示するからである。リーダーは1人、メンバーは複数である。どうして結束して不合理な指示に反発しないのか。メンバーが少し心を寄せ合えば、未熟なリーダーに背を向けることも容易ではなからうか。

こうした事例をみても、人と人との心の絆が弱まりつつあることがわかる。クラスや部活動内の絆がもう少し太ければ、「いじめ」はこれほどまでしつこく広がらなかったはずである。

## オタク化していく子どもたち

こうした事例をみるにつけ実感されるのは、いわばふつうの子のオタク化であろう。そしてオタク青年がいつの間にか親になって、子どもを育てているかのような現状がある。

最近、教師たちから親が幼稚化し、非常識になり、社会性を失ってきていると、嘆きの声を耳にするようになった。ヒトの中で育たない生育歴の中では、社会性が身につくはずがない。人に関心を持ち、人のそばにいたがり、群れることを楽しむような子どもやおとなたちができあがるはずはない。親になっても、それは変わらない。できれば集団を回避し、モノや情報の中において自己中心的に生活していこうとする親たちが子どもを育てている。必然的に、その子もいっそうオタクになっていく。

子どもはこうした育ち方をしているのだろうか。

## われわれの負う課題

もし人が皆次第にモノ化していった末に、みんなが人に特有の情緒性や共感性、社会性、集団性などを失った存在になってもいいなら、話は簡単だ。それで人が皆幸せ感を持ち、精神のバランスが保たれるなら、その方がいい。情緒だの共感性だのは、しばしばどろどろしたやっかいなものだから。

しかし、人は残念ながら、精神的な存在である。人を愛するとか、人を恋するとか、人のためになりたいとか、自尊心とか、独自でありたいとか、セルフ・エスティームを確立したいとか、そうした心の動きと無縁にならない宿命を抱えている。人間が人間である限り、いかにモノ化しても、まったく精神的な存在であることをやめるわけにはいかないのである。

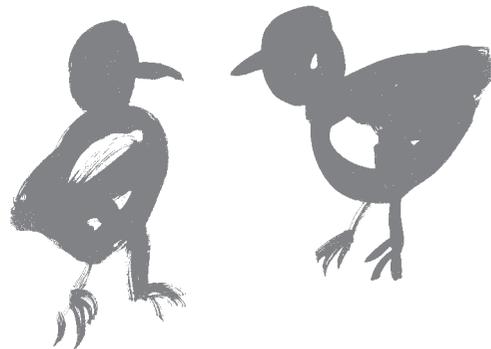
人に精神が備わっている限り、人は少なくとも精神の安定を求める。幸福感を求める。人生の充実を求める。それらは人と人との絆、張り巡らされたネットワークの中に身をおくとき、はじめて可能となる。先に指摘したような、人を愛するとか、人を恋するとか、人のためになりたいとか、自尊心とか、独自でありたいとか、セルフ・エスティームを確立したいとかの心は、すべて他人との関係の中で生じ、他人に支えられてはじめて生み出されるものである。

こうした点を考えてみると、子どもの人間形成の一端にかかわるわれわれの課題は、子どもたちに友だちとの心の絆をどう太くさせるか、いわば友情と信頼の学習機会をどう整えてやるかではなからうか。

〔調査レポート〕

# 友だち関係

東京学芸大学教授	深谷和子
東京学芸大学助手	中澤智恵
日野市立東光寺小学校教諭	猿田恵一
小金井市立緑小学校教諭	小川正代



## 『モノグラフ・小学生ナウ』Vol.18 - 2

## 調査レポート

## 友だち関係

## 要 約

## 調査概要

1. 調査主題 友だち関係
2. 調査視点 子どもたちが日頃、学校で遊んでいる仲良しと仲よしグループを取り上げ、子どもたちの友だち関係を探ることを目的として調査を実施した。
3. 調査項目 クラスの人間関係・クラスの仲よしグループに入っているか・グループの人数・自分のグループの雰囲気・グループにいる理由・仲よしとの遊び方・グループの友だちとの絆、など。
4. 調査時期 1998年2月
5. 調査対象 東京、千葉、埼玉、愛知、岐阜の小学5・6年生
6. 調査方法 学校通しの質問紙調査
7. サンプル数 1,566名(5年791名・6年771名、男子834名・女子728名、性別学年不明4名)

1. 子どもと子どもの心の絆が弱まったという指摘があるが、子どもの友だち関係はどうなっているのか。子どもが学校でいつも遊んでいる仲よしと仲よしグループを取り上げ、その心の絆を探ってみることを企図して調査が行われた。調査時期は1998年2月、対象は東京、千葉、埼玉、愛知、岐阜の小学5・6年生1,566名である。

2. 子どもは自分を「友だちがたくさんいて、明るく、初対面でもすぐに仲良くなれる」など社会性のある存在と評価している。しかし、果たしてこの自己像は、客観性のあるものだろうか(表1)。

3. 子どもは今、きょうだい数が少なくなっているだけでなく、きょうだいの友だちと遊ぶことも少ない(表2、表3)

4. 塾やおけいこごとなどに通っている子は約半数だが、通っている子だけについてみれば、7～9割がそこに仲良しがいると答えている。しかしそれは、友だちではあっても、果たして「仲良し」といえるような存在なのだろうか(表4)

5. 子どもの友だち関係では、今おそらくクラスの占めるウエイトが大きいと思われる。自分のクラスを子どもたちは「明るく元気」が特徴としている。しかし、「まとまり」や「みんなの気が合う」「先生の話をよく聞く」など「とてもそう」の評価は低い(図1)



6. クラスの人間関係は平均すると、仲良しグループの友だちが5.7人、ふつうの友だちが10.7人、あまり関係のない人が7.3人、気が合わない人が4.1人となっている(表6)

7. クラスには平均5.8のグループがある。仲良しグループに入っていない子は、1クラスに平均で男子2.1人、女子1.9人いる。仲良しグループに入っていない子は男子10%、女子7%と男子の方がやや多い(図3、表7、表8)

8. 仲良しグループは比較的固定化しているが、まったく排他的ではない(表11～表13)

9. 仲良しグループには「仲良しの友だちがいて楽しいから」入っている子が多いが、中には「1人は心細いから」「いじめられないから」という理由もある。そうした理由でグループにいる子は、わがままなリーダーがいてもがまんしているようである(図6、表17)。



10. 仲良しグループの友だちとは、休み時間に一緒に行動し、よくおしゃべりなどしているが、放課後まで行動を共にする子は大きく減る(図10)。

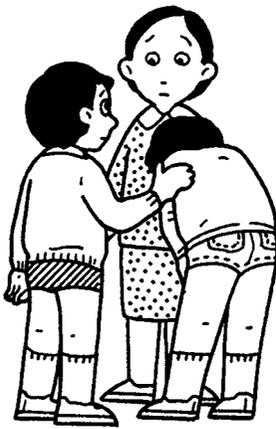
11. 友だちとの絆を約束(ルール)優先か、絆優先かで見ると、約束優先で行動する子が多く、また親の言いつけを破ってまで友だちを助ける子は少なく、ぬれぎぬを着てまで友だちをかばおうとする子も少ない。絆の薄さが実感される(図12～図14)。

12. しかし、「いじめ」に関してはグループの友だちがいじめにあったらやめさせる、あるいはいじめに加わらないと答えている。実際の場面でどうかは別として、多少の絆の存在もみえてくる(図15、図16)。

13. 仲良しグループに入っていない子は、「何となく入れなかった子」「入りたいグループがなかった子」「自由がなくなるから入らなかった子」などにほぼ3分される。また、とても入りたい子もいるし、ぜったい入りたくない子もいる(表26、表27)。



14. 9割の子が「一番気の合う仲良しの友だち」を持っている。その67%はクラスの仲良しグループにいる。ルール違反をしたときに、仲良しとふつうの友だちと気が合わない友だちでは、先生へのかばい方が違っている(図19~図21)



〔まとめ〕

人間関係に神経を遣う子が多くなったとか、友だちとの絆が弱くなったといわれる現代だが、子どもたちはそれなりに仲良しや、仲良しグループを持って、それなりの友情を交わしあっている様子がみられる。しかしわれわれ旧世代の者たちとしては、そうした人間関係や絆のありかたに若干の不満が残る。子ども時代に信頼と愛情に支えられた人間関係を体験させることは、おとなになってからの人間関係の形成能力の基礎としてきわめて重要だからである。そして、こうした人間関係の体験をより十分なものにしていくためには、学校という場やクラスという場を離れて、放課後の地域での子どもたちの生活を保障する必要があるのではなかろうか。



## はじめに

時代の中で、人々はいつも子どもの上に多様な問題を指摘してきた。最近までもっとも憂慮されていた問題は、「子どもが遊ばなくなった」であった。しかし、遊びほうけて1日を過ごした子ども時代の記憶をもつ、古きよき時代のおとなたちの数は次第に減ってきており、外で群れて遊ぶ子どもの姿を知らない世代が多数派を占めつつある。遊ばない子どもの姿を問題視する声は、次第に小さくなってきている。遊ばない子どもの姿は、子どもの成長にとって、時代を超えて憂慮すべき事態なのだが…。

その問題に代わって、近年おとなたちが懸念し始めたのは、子ども同士の人間関係の希薄さ、人と人をつなぐ絆の細さ、もろさである。この10数年、学校に根を張り続ける「いじめ」の基底には、クラス内の人間関係上の問題が横たわっている。しかも絆の希薄化は、子どもの間に限られていない。若者もおとなと呼ばれている人々も、昔に比べれば群れることを好まず、他人の支配はむろんのこと、他人から影響されることすら好まなくなっている。「関係ないでしょ」「放っといてよ」「あんたにそんなこと言われたくないね」のような表現が、日常にあふれている。

子どもの友だち関係についてのテーマは、『小学生ナウ』が刊行され始めた当初からわれわれグループの関心事であった。しかしこの問題に迫る調査票の作成はこのほか難しく、必要性を感じながらもついつい後回しにしてきたという経緯がある。そうした長年の課題をやっと今回、調査に下ろすことができた。

子どもの交友関係の調査が難しい理由は、「仲良しの友だち」への接近の仕方であろう。その昔に「親友」と称されていたベストフレ

ンドの存在は、次第に実態のないもの、姿がおぼろげなものになってきている。かつては太い絆で結ばれていてこそその「親友」であったが、今子どもたちの間に、果たしてそうした太い絆で結ばれた特別の友だち（親友）がいるのだろうか。「親友」の代わりに「仲良しの友だち」という語を置き換えれば、その実態に近づけるだろうか。

かつて子どもたちの間で親友と呼ばれていた人間関係は、「心の友」としての側面と、「いつも一緒に行動する（遊ぶ）友」の側面を2つながら備えた特別に密度の濃い友人関係であった。

しかし最近では、そうした存在をとらえようと子どもに「仲良しの友だちは何人いますか」とたずねると、「クラス全員」または「20人、30人」と答える子が出てくるようになった。2、3人ならともかく、クラス全員がベストフレンドのはずはない。「仲良しの友だち」と「ふつうの友だち」または「同じクラスの人」は、一体どこが違うのか。「仲良し」と「ふつうの友だち」の間には、それほど差がなくなりつつあるようにも見受けられる。

全体に人間関係が希薄化して、淡いつながりが集団全体を覆っている状態なら、無理して親友の姿を追い求めるのは無意味かもしれない。

それにしても、今の子どもたちにとって、「とりわけ仲のいい友だち」とはどの程度の「心の友」か、また「一緒に行動する友」なのか。そうした議論を重ねて今回の調査票が作られた。

調査が行われたのは1998年2月、東京、千葉、埼玉、愛知、岐阜の小学校5・6年生1,566名。クラスの児童数平均は33.8名であった。

## 1

## 友だちはどこにいるか



子どもの友だち関係に接近を試みる前に、まず彼らが自分の友だち関係をどう評価しているか、社会性を中心に子どもの自己像をみておきたい。

## 友だちがたくさんいてノリのいい自分？ )))

表1によれば、子どもの自己評価のうち、もっとも肯定的な側面は「友だちがたくさんいる」で、「とてもそう・わりとそう」を合わせると85%にも達し、2位の「明るい」の82%と共に他を圧している。さらに3位は「初対面でもすぐに仲良くなれる(68%)」が入り、6位には「友だちを笑わせるのが上手(48%)」が入っている。

個人的な特性の側面では、勉強はできる方ではない(得意でないとする子は64%)が、しかし「運動が得意(56%)」「流行に敏感

(54%)」と、明るく社会性がある、いわば人間関係にオープンでノリのいい子ども像が見いだされる。

しかし、子どもによって把握されているこれらの子ども像は、陰湿な「いじめ」が起きやすく、しばしば人間関係に過敏で友だちに気を遣っていると指摘される最近の子どもの姿と、いささか距離が感じられる。

果たして子どもたちは、現在そんなにも友だちに囲まれ、社会性がある存在なのだろうか。

表1 自己像

(%)

	とてもそう	わりとそう	あまり そうでない	ぜんぜん 違う
1. 友だちがたくさんいる	43.2	41.3	13.8	1.7
	84.5			
2. 明るい	34.0	48.2	15.6	2.2
	82.2			
3. 初対面でもすぐに 仲良くなれる	26.1	42.2	26.5	5.2
	68.3			
4. 運動が得意	25.7	30.0	27.9	16.4
	55.7			
5. 流行に敏感	18.1	35.7	35.9	10.3
	53.8			
6. 友だちを笑わせるのが 上手	17.7	30.4	38.1	13.8
	48.1			
7. 勉強が得意	9.6	26.0	38.9	25.5
	35.6			
8. 心が傷つきやすい	11.3	23.4	41.2	24.1
	34.7			
9. わがまま	7.5	27.1	47.6	17.8
	34.6			
10. まじめ	5.6	21.9	46.5	26.0
	27.5			
11. 目立ちたがり	10.2	17.2	43.5	29.1
	27.4			
12. リーダー的	7.3	16.0	40.5	36.2
	23.3			
13. よくケンカをする	6.4	16.2	42.4	35.0
	22.6			
14. おとなしい	4.2	18.2	41.1	36.5
	22.4			

## 血縁と地縁の友だち )))

人が人生で初めて出会う友だちは「きょうだい」であろう。かつて多子時代の子どもの成長は、まずきょうだいという子ども集団の中で始まり、やがて地域の子も集団へ、そして学校というもっと広いエリアの人間関係からなる集団へと広がっていった。少子化が進行した今、まず子どもが「人生で初めて出会う友だち(きょうだい)」との関係はどうなっているのだろうか。

表2が示すように本サンプルの場合、2人きょうだいが5割を占める。つまり、家庭内では、自分以外に「友」を1人しか持たない子が半数に上る。

また、きょうだいの友だちと遊ぶ機会はどうだろうか。昔はきょうだいがたくさんいただけでなく、きょうだいの友だちともよく遊んでいたと聞く。しかし表3に示したように、きょうだいの友だちと遊ぶことが「ほとんどない・ぜんぜんない」子は、合わせると6割近くになる。「ときどきある」子が39%、「毎日のようにある」子はわずか4%でしかない。

次いで、表4の下部には、近所に幼なじみの友だちがいるかをたずねた項目があるが、「いる」と答えた子は男子45%、女子は51%と半数にすぎない。

表2 きょうだいの人数(自分も含めて)

(%)				
1人	2人	3人	4人	5人以上
8.8	51.3	32.5	5.2	2.2

(平均2.4人きょうだい)

表3 きょうだいの友だちと一緒に遊ぶか × 性

(%)				
	毎日のようにある	ときどきある	ほとんどない	ぜんぜんない
男子	5.1	38.6	22.3	34.0
女子	2.9	40.3	27.9	28.9
全体	4.1	39.3	25.0	31.6

## 塾やおけいこの場での友だち)))

通塾率が上昇した現状の中で、校外学習の場は子どもの友だち関係をどのくらい広げているのだろうか。児童館などを含めて学校外での友だちの有無をみってみる。

表4は、学校以外の場で仲良くしている友だちの有無である。5、6年で塾やおけいこごとなど校外学習の場を持つ子は、塾で49%、おけいこごとで46%、スポーツ教室

表4 学校の外で仲良くしている友だち × 性

		友だち		行っていない	行っているに占める「いる」の割合
		いる	いない		
塾	男子	39.6	11.7	48.7	77.2
	女子	35.3	10.8	53.9	76.6
	全体	37.6	11.3	51.1	76.9
ピアノなどのおけいこごと	男子	18.7	12.4	68.9	60.1
	女子	46.7	15.9	37.4	74.6
	全体	32.0	14.1	53.9	69.4
地域のスポーツ教室 (野球、サッカー・チームなど)	男子	44.3	3.8	51.9	92.1
	女子	14.2	2.2	83.6	86.6
	全体	30.2	3.1	66.7	90.7
地域の子ども会	男子	32.1	15.4	52.5	67.6
	女子	37.7	9.6	52.7	79.7
	全体	34.7	12.6	52.7	73.4
児童館や子ども文化センター	男子	11.6	14.4	74.0	44.6
	女子	8.5	13.4	78.1	38.8
	全体	10.2	14.0	75.8	42.1
近所の幼なじみ (小さい頃からの近所の友だち)	男子	44.5	55.5		
	女子	51.4	48.6		
	全体	47.7	52.3		
お母さんやお父さんの友だちの子ども	男子	54.0	46.0		
	女子	62.9	37.1		
	全体	58.2	41.8		

で33%、子ども会で47%、児童館などで24%となっている。こうした校外学習の機会に友だちをみつけている子は、塾へ行っている子の77%、おけいこごとでは69%、スポーツ教室では91%、子ども会で73%、児童館などで42%が、そうした場で仲良くしている友だちが「いる」と答えている。見方によっては、こうした校外学習や活動は、最近では友だちづくりのための「意味ある場」となっているのかもしれない。

しかし、そこでできた友だちとは、その場を離れても交友が続くのだろうか。そこでおしゃべりをする程度の、単なる顔見知りにはすぎないのではなからうか。最近の子どもにとっての友だちとは、血縁や地縁ではなく、ひたすら学校文化の支配を受けて成立している

人間関係ということになりそうだ。

クラスの人間関係は後でみていくことにして、ここではとりあえず学年の違う友だち、または違うクラスの「仲良しの友だち」の数をみておきたい。

表5は学校という場を介した友だちのうち、クラス以外の友だちをみたものだ。同じ学年で違うクラスに友だちがいる子は、「3、4人かそれ以上いる」が5割を超えるなど、他のクラスに仲良しのいる子も多い。過去に同じクラスになった友だちだろうか。

では学年の違う友だちはどうか。「年上の友だちが5人以上いる」はわずか6%、年下では12%で、昔に比べれば大幅な減少ぶりである。

表5 クラスや学年の違う友だちの人数 × 性

(%)

		いない	1~2人	3~4人	5人以上
年上の人で	男子	58.7	25.6	7.8	7.9
	女子	64.4	24.1	7.1	4.4
	全体	61.3	24.9	7.5	6.3
年下の人で	男子	49.1	27.2	11.9	11.8
	女子	45.1	28.9	14.0	12.0
	全体	47.2	27.9	13.0	11.9
同じ学年の人で	男子	16.2	25.8	21.9	36.1
	女子	20.1	32.8	21.0	26.1
	全体	18.1	29.0	21.5	31.4

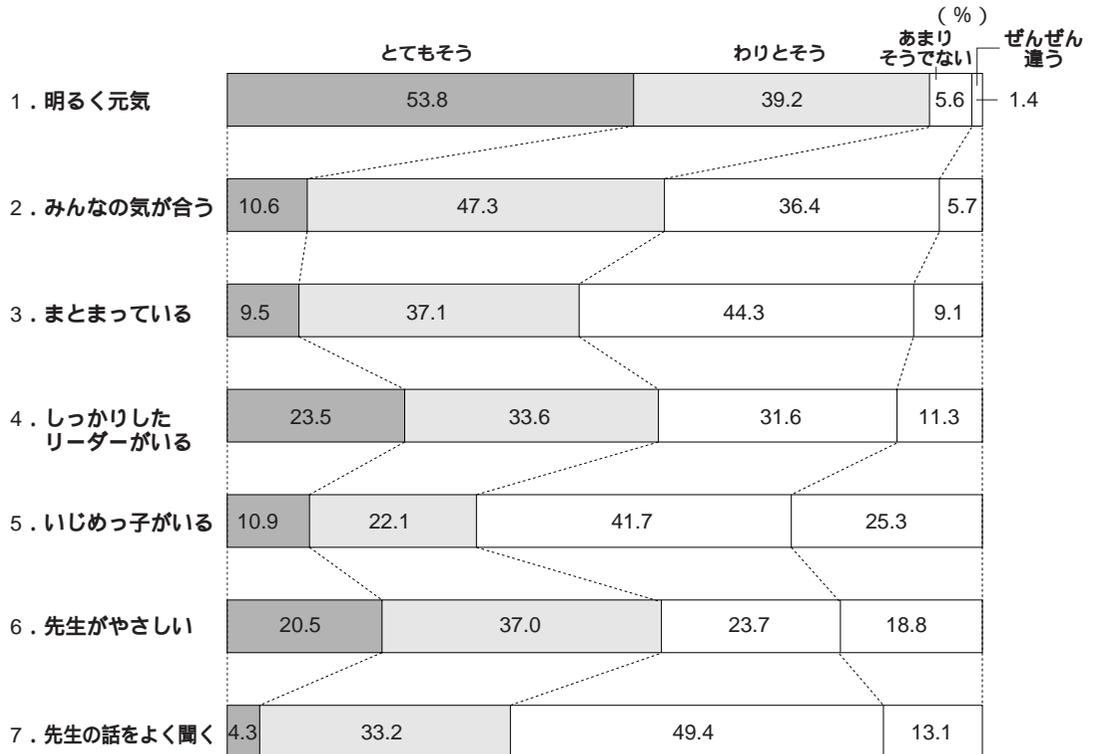
## クラスの間関係)))

子どもたちの友だち関係は現在、ほとんどがクラスを基盤に成立していると考えられる。この章からは、クラスの間関係をみていきたい。

まず、子どもたちのクラス評価をみてみよう。図1は自分のクラスの評価であるが、「とてもそう・わりとそう」の数字をみてい

くと、「明るく元気なクラス」が9割を超えるものの、あとの側面にはそれほど積極的な評価がされていない。「みんなの気が合うクラス」は「とてもそう」がわずかに1割。「わりとそう」を合わせても6割にならない。「まとまっているクラス」も、合わせて47%である。図の最下部の「先生の話をよく聞く」

図1 どんなクラスか



では、「とてもそう」が4%にすぎず、「わりとそう」を合わせても4割に達しない。

また、いいクラスには「しっかりしたリーダーがいる」ものだが、それも「とてもそう・わりとそう」を合わせて6割に達しない。反面、「いじめっ子がいるクラス」は3割を超える。

こうしたまとまりのないクラスの中で、先生はどう評価されているのだろうか。「先生がとてもやさしい」が2割、「わりと」を合わせると58%になる。やさしい先生とまとまりのないクラスの印象が浮かび上がる。

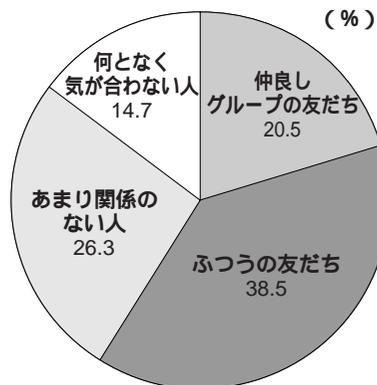
さて、こうしたクラスの中で、それぞれの子どもの友だち構成はどうなっているのか。

表6、図2によれば、クラスの中の「仲良しグループの友だち」は平均で5.7人、仲良しではないが「ふつうの友だち」が10.7人、「あまり関係のない人」が7.3人、「何となく気が合わない人」が4.1人となっている。図2に示したように、大まかにいえば、友だちが6割、「関係ない人・気が合わない人」が合わせて4割と、クラスの風土はそれほど暖かいもの、親密なものではなさそうだ。

表6 クラスの人間関係

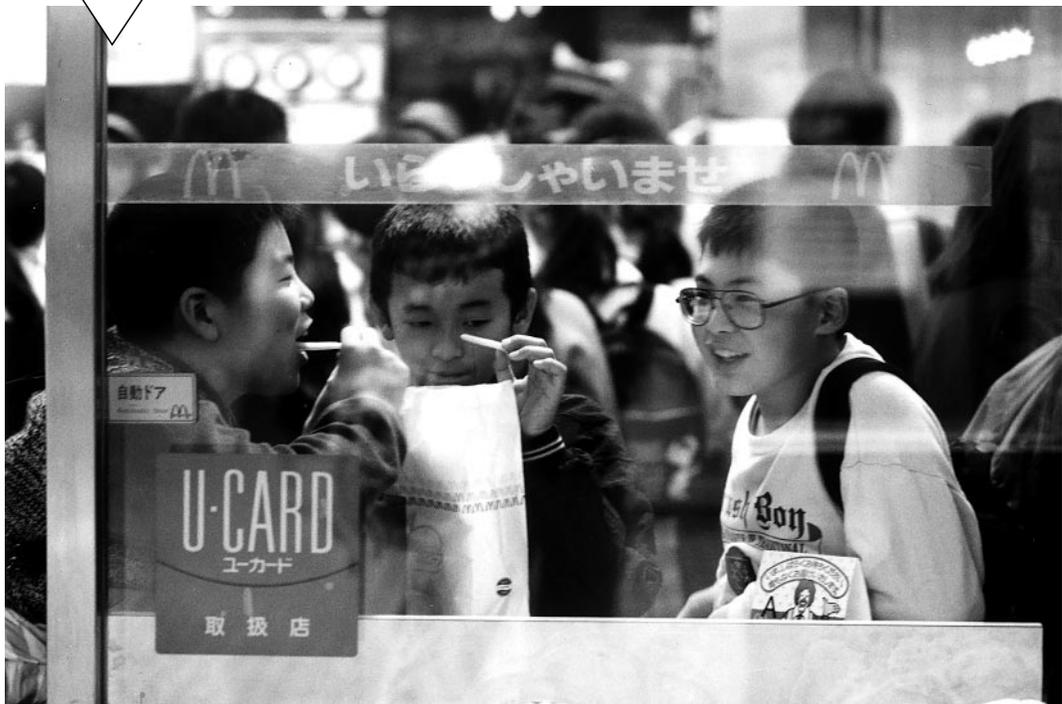
	平均人数	構成比
1. 仲良しグループの友だち	5.7人	20.5%
2. ふつうの友だち	10.7人	38.5%
3. あまり関係のない人	7.3人	26.3%
4. 何となく気が合わない人	4.1人	14.7%

図2 クラスの人間関係



## 2

## 仲良しグループをめぐって



## クラスの仲良しグループとは)))

## (1) クラスのグループ数

おとなたちは子どもが誰とでも仲良くして、社会性や協調性、他人への思いやりを身につけてほしいと期待している。しかしクラスという集団の単位は、子どもにとって少し大きすぎる単位なのかもしれない。先にみたように、子どもはクラスメート全員と同じように仲良くしているわけではない。クラスの中には友だちとの心理的距離によって、いろいろな種類の友だちがいる。その結果、クラスには仲間集団がいくつもできる。クラス内で、他より人間関係の密な「仲良しグループ」を形成している子どもは、どのくらいいるのだろうか。

まず「仲良しグループ」を「休み時間のと

きに、よく一緒に遊ぶ仲間のこと」として、クラスに「仲良しグループ」がいくつあるかをたずねてみた。

図3にみるように、「仲良しグループ」はクラスに平均5.8グループあり、1から4グループという比較的大きなまとまりがあるクラスが3割、5～6グループのクラスが3割、7～8グループが3割弱で、9つ以上グループのある細分化されたクラスも1割強ある。

そのうち、男子だけのグループは2つか3つが多く、女子だけのグループは3つか4つが多い。男女混合のグループは7割までが1つだけである。平均では1クラスに男子だけのグループが3.0、女子だけのグループが3.3、混合グループが1.7となっている。

## (2) グループに入っている子・いない子

こうしたグループの林立の中に、どのグループにも入っていない子どもはいるのだろうか。どのグループにも属さない孤立した子どもがいないクラスが半分、そして半分のクラ

スには孤立した子どもがいる(表7)。おおむね男子女子それぞれ1人ずつ程度の孤立した子どもがいるのが一般的だが、中には何人もの孤立した子どもがいるクラスもある。なおグループに所属しない子は、男子で平均2.1人、女子で平均1.9人である。

### 図3 仲良しグループ数

		(%)					
		1~4グループ	5~6グループ	7~8グループ	9グループ以上		
1. クラスのグループ数		30.1	29.4	27.2	13.3	平均5.8	
		1グループ	2グループ	3グループ	4グループ	5グループ	
2. 男子だけのグループ数		12.5	25.2	33.0	17.6	11.7	平均3.0
		1グループ	2グループ	3グループ	4グループ	5グループ	
3. 女子だけのグループ数		7.9	19.4	29.4	24.9	18.4	平均3.3
		1グループ		2グループ	3グループ		
4. 男女混合のグループ数		73.0		14.2	12.8	平均1.7	

### 表7 クラスに、グループに入っていない子がいるか (%)

	いる	いない
	50.0	50.0

平均人数：男子2.1人 女子1.9人

表8は、自分がクラスの中にある「仲良しグループ」に入っているかいないかをたずねたものである。とにかくどこかのグループに入っている子は、男女ともに9割を超えている。その一方で、1割弱ではあるがどのグループにも所属していない子もいる。グループ内の親密さや集団の凝集性、安定性はさておき、

ほとんどの子どもがクラス内に、一緒に行動する仲間がいることがわかる。またグループの人数は、平均5.6人という結果が得られているが、図4に示したように、男子では「7人以上」のグループが4割弱と大きな集団を作っている。それに対して女子は「7人以上」が2割弱。女子のグループの最大値は「3～

表8 クラスの仲良しグループに入っているか × 性  
(%)

	入っている	入っていない
男子	90.4	9.6
女子	93.5	6.5
全体	91.9	8.1

図4 グループの人数 × 性

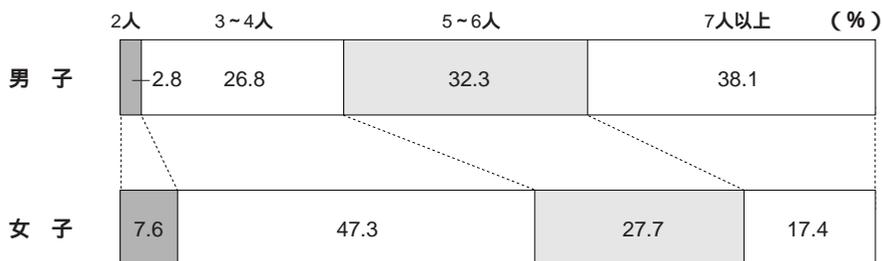


表9 グループのできた時期 × 性

(%)

	今のクラスになって すぐ	今のクラスになって しばらくして
男子	54.4	45.6
女子	47.4	52.6
全体	51.2	48.8

4人」が5割弱と、男子に比べ小さい集団を形成している。なお、1グループは男子で平均6.2人、女子で平均4.9人となっている。

また、表9はグループのできた時期を示したもののだが、今のクラスになって「すぐできた」と「しばらくしてできた」が半分半分である。グループのおよそ半数はクラス替えの後で、すぐ形成されている。新学期になって新しい仲間と出会うと、子どもたちはまず自分をどこかのグループに所属させようと必死になる、としばしば指摘されるが、その様子がこのデータからもうかがえる。最近の子どもは社会性がある集団形成をするのではなく、どこかの集団の中に入ることで安定感を獲得したいのかもしれない。

### (3) 仲良しグループの風土

子どもたちの所属するグループは、どんな風土を備えているのだろうか。どのくらいまとまった集団なのだろうか。健全なリーダー

がいるのだろうか。またギャング・エイジの特徴を備えているのだろうか。グループの雰囲気や性格を7項目にわたってたずねたのが表10、図5である。

仲良しグループは第1位が「みんなの気が合う」グループで、「とてもそう」「わりとそう」を合わせると9割に達する。「まとまっている」という評価も8割を超す。いずれも女子の評価がやや高い。

他方「クラスの人気者が入っている」「クラスの中で目立っている」という側面では、肯定する子が半分近くに減るが、やや男子の肯定率が高い。

またグループのリーダーの有無については、「しっかりしたリーダーがいる」と「わがままなリーダーがいる」の2項目を設定したが、「しっかりしたリーダー」のいるグループは約半数、「わがままなリーダーがいる」グループも2割近くあった。

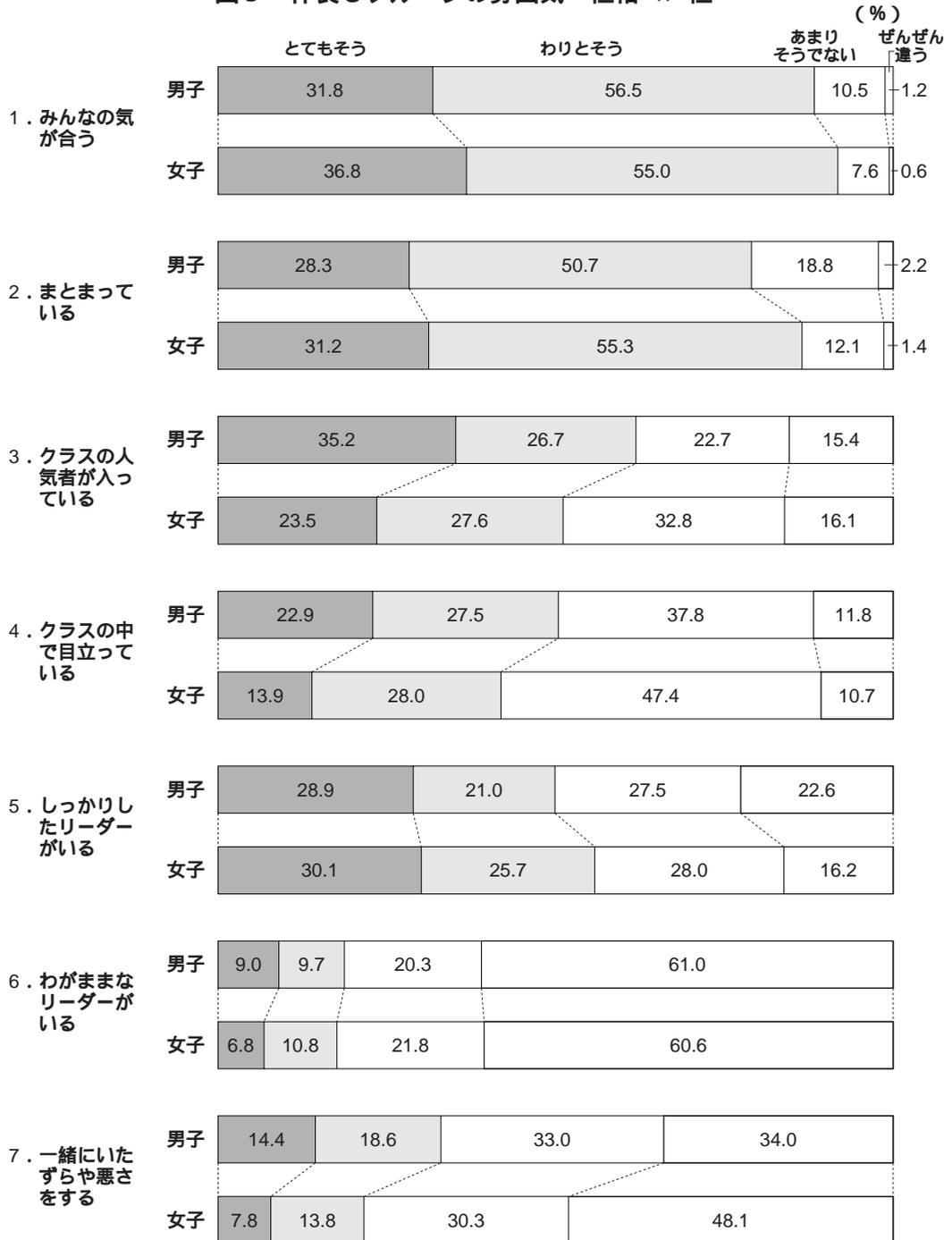
また「一緒にいたずらや悪さをする」の項

表10 仲良しグループの雰囲気・性格

(%)

	とても そう	わりと そう	あまり そうでない	ぜんぜん 違う
1. みんなの気が合う	34.2	55.8	9.1	0.9
2. まとまっている	29.7	52.9	15.6	1.8
3. クラスの人気者が入っている	29.7	27.2	27.4	15.7
4. クラスの中で目立っている	18.7	27.7	42.3	11.3
5. しっかりしたリーダーがいる	29.5	23.2	27.7	19.6
6. わがままなリーダーがいる	7.9	10.2	21.1	60.8
7. 一緒にいたずらや悪さをする	11.3	16.4	31.7	40.6

図5 仲よしグループの雰囲気・性格 × 性



目は、ギャング・エイジの特徴を備えたグループの有無をみようとしたものである。表が示すように、「とてもそう・わりとそう」とする回答は28%と4分の1程度である。もっとも、グループの活動の場が学校内に限定されている現状では、ギャング行為も難しくなる。ギャング・エイジは喪失したという指摘の一端が垣間みえる結果であろうか。

男女を比較してみると(図5)、先にも指摘したように、女子では「みんなの気が合う」「まとまっている」「しっかりしたリーダーがいる」という項目で肯定率がやや高く、グループの凝集性の強さが示唆される。一方男子では、「クラスの人気者が入っている」「クラスの中で目立っている」「一緒にいたずら

や悪さをする」という項目で肯定率が女子よりも1割前後高く、多少の腕白ぶりを示している。

#### (4) グループの安定

子どもは自分たちのグループを「みんなの気が合って、まとまっている」と評価しているが、ではグループの凝集性、安定性、流動性はどうなっているのだろうか。

表11によれば、まずグループの人数について「今のままでちょうどいい」と思っている子どもが63%を占める。ではグループ間でメンバーの移動はあるのかを表12でみると、「かわらない」が65%と、グループは比較的固定的である。

表11 グループの友だちの数を増やしたいか

(%)		
もっと増やしたい	今のままでちょうどいい	もっと少なくしたい
34.0	63.2	2.8

表12 グループの子は入れ替わるか

(%)		
わりとかわる	たまにかわることもある	かわらない
3.2	31.6	65.2

しかし表13にみるように、グループに新しい友だちが入ってくることが嫌かどうかでは、「嫌だ」とする回答は8%と少数である。しかし「入ってきてもいい」とする子は25%で、「人による」という回答が3分の2に達している。表は省いたが、グループの人数を増やしたいと思っている子どもでも、新規加入については、誰でもいいというわけではなくて、「人による」と回答する子が多く、過半数（57%）を占める。メンバーは、グ

ループ外の友だちに対して排他的ではないものの、自分たちのグループの性格や境界というものをある程度意識していることがうかがえる。総じて、子どもたちは、比較的安定したグループを形成しているとみることができる。

#### (5) グループにいる楽しさ

次に、表14はグループの居心地や快適度をみるために「あなたは、グループにいて楽しいですか」とたずねた結果である。「とて

表13 グループに新しい友だちが入ってくるのは嫌か

(%)		
はい	いいえ	人による
7.7	24.5	67.8

表14 グループにいて楽しいか

(%)			
とても楽しい	まあ楽しい	少しつまらない	とてもつまらない
71.4	24.7	3.0	0.9
96.1			

表15 今のグループにいたいか

(%)	
これからもずっと、今のグループにいたい	できれば別のグループに入りたい
94.8	5.2

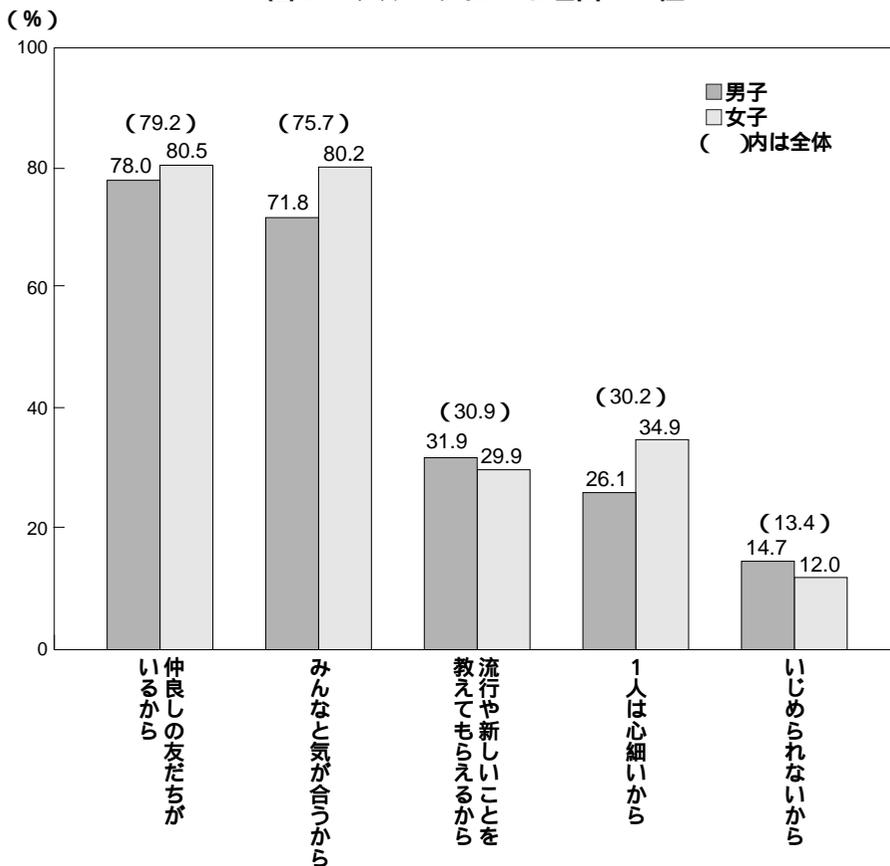
も楽しい・まあ楽しい」を合わせた回答が96%で、ほとんどの子どもがグループにいて楽しいと感じている。

また、今後も今のグループにいたいか、それともグループを移動したいと思っているかを表15でみると、ほとんど(95%)が「これからもずっと、今のグループにいたい」と答えている。子どもたちは現在のグループにおおむね満足していることがわかる。

グループにいて楽しいと感じ、これからも

ずっと今のグループにいたいと感じている理由が図6である。当然ではあるものの「仲良しの友だちがいるから」「みんなと気が合うから」という回答が7、8割と大勢を占める。その一方で「いじめられないから(13%)」「1人は心細いから(30%)」といった消極的な理由も少しみられる。とくに女子では、「みんなと気が合うから」「1人は心細いから」がやや多くなっている。

図6 グループにいる理由 × 性



## (6) いつまでグループを続けたいか

さらに今のグループへの愛着度をみるために、「今のグループをいつまで続けたいか」とたずねたのが図7である。その結果、「一生続けたい」が35%ともっとも多い。男女を比較すると、男子31%、女子39%と女子の方が多し。また、表は省いたが、グループを「一生続けたい」という希望は、グループの中に一番仲良しの友だちがいる場合（40%）が、そうでない場合（29%）よりも多くなる。ドライと形容されがちな現代の子どもたちの中にも、友情の固い絆があれば、その継続を望む気持ちがあることがわかる。

一方、「クラス替えまで」「卒業するまで」という回答は、それぞれ4%、18%である。また「何となく続くときまで」「わからない」というさらに淡泊またはドライな回答も、それぞれ22%、21%みられる。

## (7) グループの雰囲気と居心地

子どもたちはどういう場合に、自分のグル

ープが楽しくて居心地がいいと感じるのか。グループの雰囲気・性格と居心地との関連をみってみる。表16に示すように、気が合ってまとまっているグループ、クラスの人気者が入っていて目立っているグループは、子どもにとって楽しく居心地のいいグループとなっているようだ。

しっかりしたリーダーがいるという条件は、グループの居心地を大きくは左右しないが、わがままなリーダーがいる場合はグループの居心地も低下し、グループにすることが楽しくなくなる。表17に示したように、グループにいる理由も「1人は心細いから」「流行や新しいことを教えてもらえるから」などといった依存的な理由が多くなる。

とくに、「わがままなリーダーがいる」と「とても強く感じている」子は、「1人が心細いから」グループにいるという回答が4割を超えており、現代の子どもたちの孤独、あるいは孤立に対する恐怖感の一端を表しているようである。

図7 いつまでグループを続けたいか × 性

	（％）				
	何となく 続くときまで	クラス替えまで 卒業するまで	一生	わからない	
男子	23.9	4.8	20.2	31.0	20.1
女子	20.8	2.4	16.4	39.0	21.4
全体	22.4	3.6	18.4	34.9	20.7

表16 仲良しグループの雰囲気・性格 × グループにいて「とても楽しい」

(%)

	とても そう		わりと そう		あまり そうでない		ぜんぜん 違う
1. みんなの気が合う	93.7	>	65.0	>	32.8	>	15.4
2. まとまっている	92.3	>	70.3	>	40.2	>	32.0
3. クラスの中で目立っている	85.0	>	77.5	>	66.7	>	53.2
4. クラスの人気者が入っている	83.3	>	70.9	>	67.5	>	56.9
5. しっかりしたリーダーがいる	79.9	>	67.0		67.4		67.4
6. わがままなリーダーがいる	61.8		61.7		58.4	<	78.6
7. 一緒にいたずらや悪さをする	80.1	>	72.2		65.8	<	72.7

表17 わがままなリーダーがいる × グループにいる理由

(%)

		グループにいる理由				
		みんなと 気が合う から	いじめら れないか ら	流行や新しい ことを教えて もらえるから	仲良しの 友だちが いるから	1人は心 細いから
わが まま な リー ダー が い る	とてもそう	69.4	21.3	44.4	78.7	42.6
	わりとそう			▼		▼
	あまりそうでない	71.4	14.3	38.6	75.0	37.9
	ぜんぜん違う			▼		▼
	あまりそうでない	72.6	8.6	27.4	72.5	29.5
	ぜんぜん違う	78.9	14.0	29.5	78.9	28.0

## グループの友だちとのつきあい)))

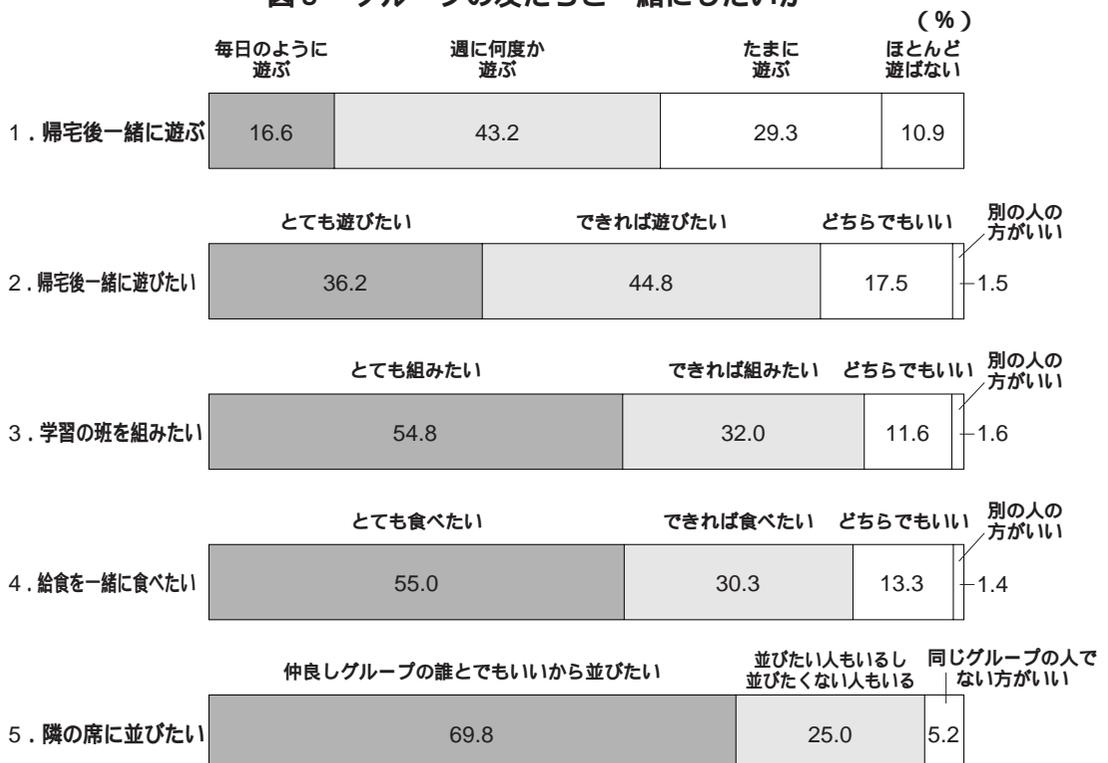
### (1) いつも一緒にいたい友だち

クラス内で仲よしグループをつくっている子どもは、休み時間に一緒に遊ぶ以外に、グループの仲間とどのような友だち関係を結んでいるのだろうか。お手洗いにまで連れだて行く女子の交友関係は「金魚のフン」「トイレ友だち」などとからかわれるが、子どもたちはグループの友だちといつも一緒にいたいと思っているのだろうか。学校の学習活動の中では、グループの友だちとばかりで行動することはできないが、学習場面で仲よしグループの友だちと一緒にになりたいかどうかをたずねたのが図8である。

まず、「学習のときの班を組みたいか」に対して、「とても組みたい」子は55%と過半数に達し、「できれば組みたい(32%)」を合わせると9割近くがそれを望んでいる。「給食を仲よしグループの人と一緒に食べたいか」に対しても同様に、「とても食べたい(55%)」「できれば食べたい(30%)」と、8割強がそれを望んでいる。また「仲よしグループの人と隣の席に並びたいか」については、先の質問と選択肢が少し異なるが、「仲よしグループの誰とでもいいから並びたい」とする子が約7割に達している。

このように、グループの友だちと学校生活を一緒に過ごしたいという気持ちは強いが、

図8 グループの友だちと一緒にしたいか



隣の席について「グループの中に並びたい人もいるし、並びたくない人もいる」と答えた子が4分の1(25%)おり、グループといってもメンバー間には好き嫌いもあるようだ。

では子どもたちは、帰宅後もグループの友だちと一緒に過ごしたいのだろうか。同じ図8には「仲良しグループの人と、家に帰ってからも一緒に遊びたいか」の項目があるが、「とても遊びたい」と答えた子は36%にすぎず、学習場面に対する希望に比べると20%も少ない。「できれば遊びたい(45%)」を合わせると8割に達するものの、学校では一緒に行動したいが、帰宅後までは学校ほど一緒になくていいというところだろうか。

その点に関して「家に帰ってからも一緒に遊ぶことがあるか」と実態をたずねると、「毎日のように遊ぶ」子は17%、「週に何度か遊ぶ」子は43%であった。「ほとんど遊ば

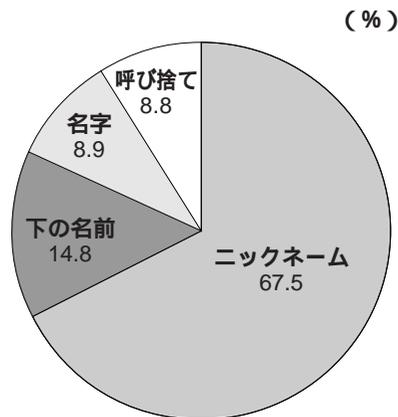
ない」という子どもは11%にとどまっているので、帰宅後も学校生活の延長で、グループの友だちと遊ぶことはあるようだが、グループの親密さは、おおむね学校内に限定されたものかもしれない。

## (2) グループの友だちとの 遊び方・過ごし方

<友だちをどう呼ぶか>

親しさの程度は、お互いをどう呼び合うかにもしばしば現れる。図9は、グループの友だち同士がどのように呼び合っているかである。もっとも多かったのは、「ニックネーム(あだ名)」で68%、次いで「下の名前」が15%、「呼び捨て」が9%である。「名字」で呼ぶ子は9%で、グループ内での親密な関係が示されているといえそうだ。

図9 友だちの呼び方



## &lt;友だちの家は知っているか&gt;

では子どもたちは、どのくらい友だちの家を知っているのだろうか。表18に示したとおり、「グループ全員の家を知っている」子は54%と半数を超え、「知っている家が多い(38%)」を合わせると、ほとんどの子どもがグループの友だちの家を知っている。

次に、表19は「グループの友だちの家に遊びに行くか」である。「ときどき遊びに行く」子は7割強いるが、学校での親密な関係を放課後まで延長しているような「しょっちゅう遊びに行く」子はわずか16%である。「ぜんぜん遊びに行かない」子も1割程度いる。先にもふれたように、クラスの仲よしグループの友だちと一緒に行動は、放課後まではあまり延長されないようである。

## &lt;一緒に遊ぶ時間&gt;

グループの友だちと、子どもはどのように遊んだり、どんなことを一緒にしているのだろうか。図10をみてみよう。

まず一緒に遊ぶのはいつか。学校の休み時間に「いつも一緒に遊んでいる」子は7割であり、「あまり・ぜんぜん遊ばない」子は合わせても数%しかない。「おしゃべりする」についても、「いつもする」子が8割を超えている。子どもたちの休み時間は、グループの友だちとおしゃべりや遊びで過ごされているようだ。

ところが、いったん学校を離れてしまうと、一緒に過ごす時間は格段に少なくなる。学校生活を離れた放課後の過ごし方をみると、「放課後残って、学校で一緒に遊ぶ」ことを「いつもする」子は6%でしかなく、「ときどきする(32%)」と合わせても4割に満たない。グループの友だちと「家に帰ってから一緒に遊ぶ」については、「いつもする」が18%しかない。「ときどきする」子は56%いるが、休み時間に遊ぶ割合に比べると、大きく減っている。

しかし、平日は忙しいにせよ、日曜日や休日はどうか。図が示すように、グループの友だちと遊ぶ子は平日よりいっそう減っ

表18 グループの友だちの家を知っているか × 性

(%)

	グループ全員の 家を知っている	知っている家 が多い	ほとんど 知らない
男子	50.3	41.7	8.0
女子	57.3	33.1	9.6
全体	53.6	37.6	8.8

表19 グループの友だちの家に遊びに行くか × 性

(%)

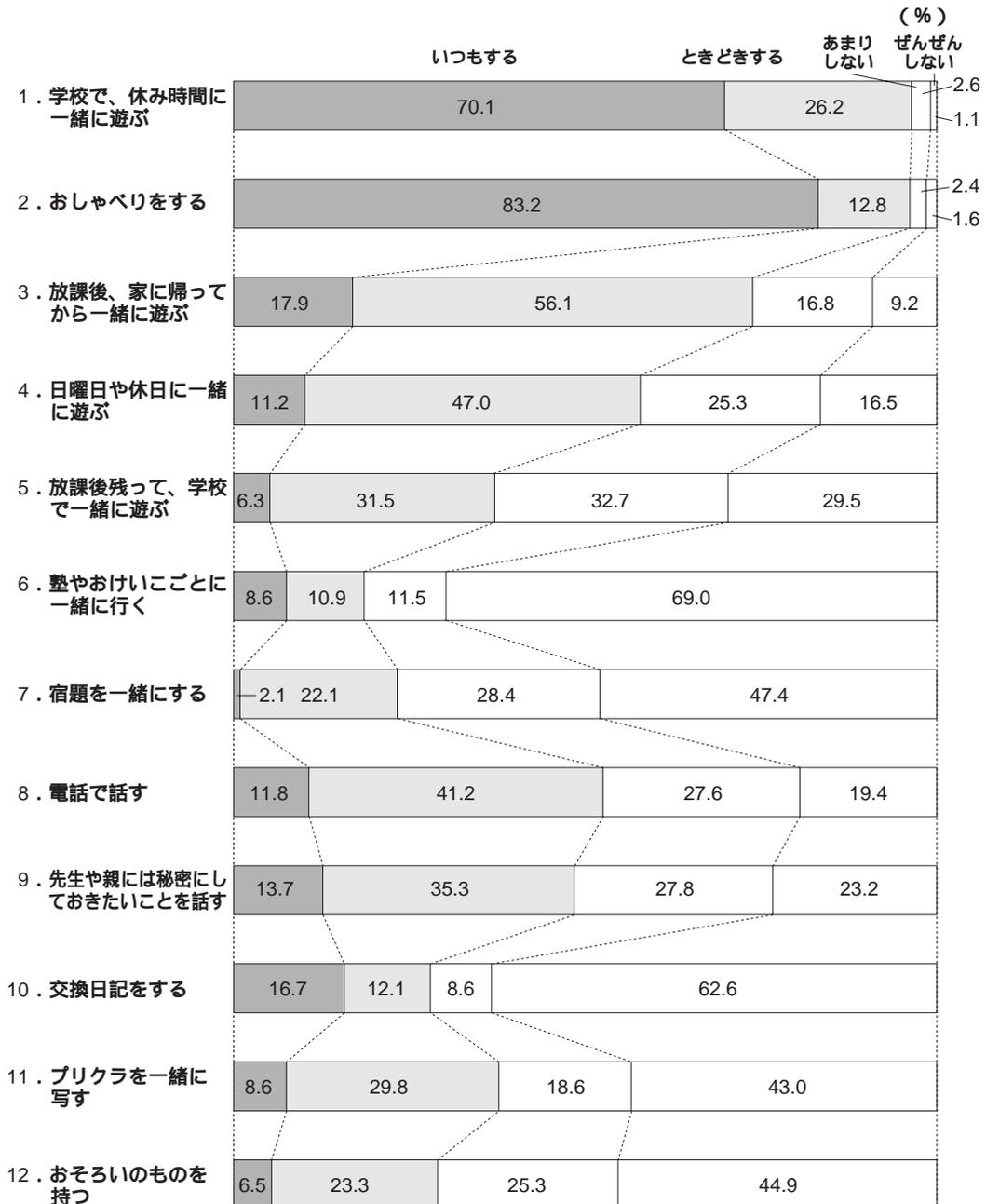
	しょっちゅう 遊びに行く	ときどき 遊びに行く	ぜんぜん 遊びに行かない
男子	20.5	70.5	9.0
女子	11.6	72.8	15.6
全体	16.3	71.6	12.1

ている。小学生の子どもにとって日曜日や休日は、友だちと遊ぶ日というより、家族で過ごす日となってしまうのかもしれない。

またグループの子と「塾やおけいごと

と一緒に行く」も、「ぜんぜんしない」子が7割近い。塾やおけいごとに通う子どもにとって、そこでの交友関係はクラス内のグループの交友関係とは別のものであることがわかる。「宿題を一緒にする」情景もか

図10 グループの友だちとの遊び方・過ごし方

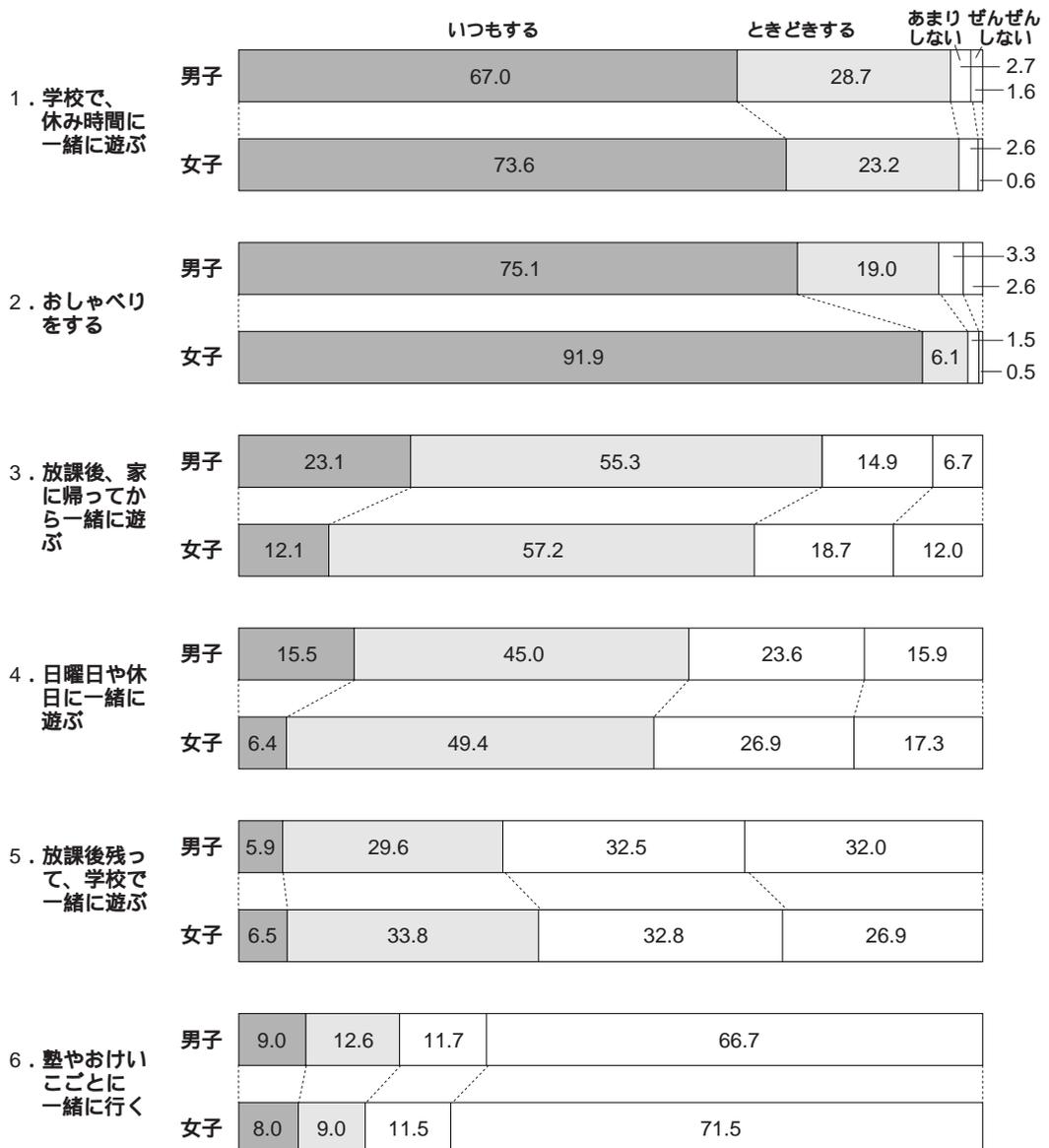


つてはよくみられたが、「いつもする」子はわずかに2%、「ときどきする」子を合わせても4分の1程度でしかない。

このように、学校の中ではクラスの仲良

しグループとして一緒に遊び、行動を共にするものの、学校外では必ずしもその関係が延長されないという実態が、改めてみえてくる。塾やおけいこごとの予定があった

図11 グループの友だちとの遊び方・過ごし方 × 性 (%)

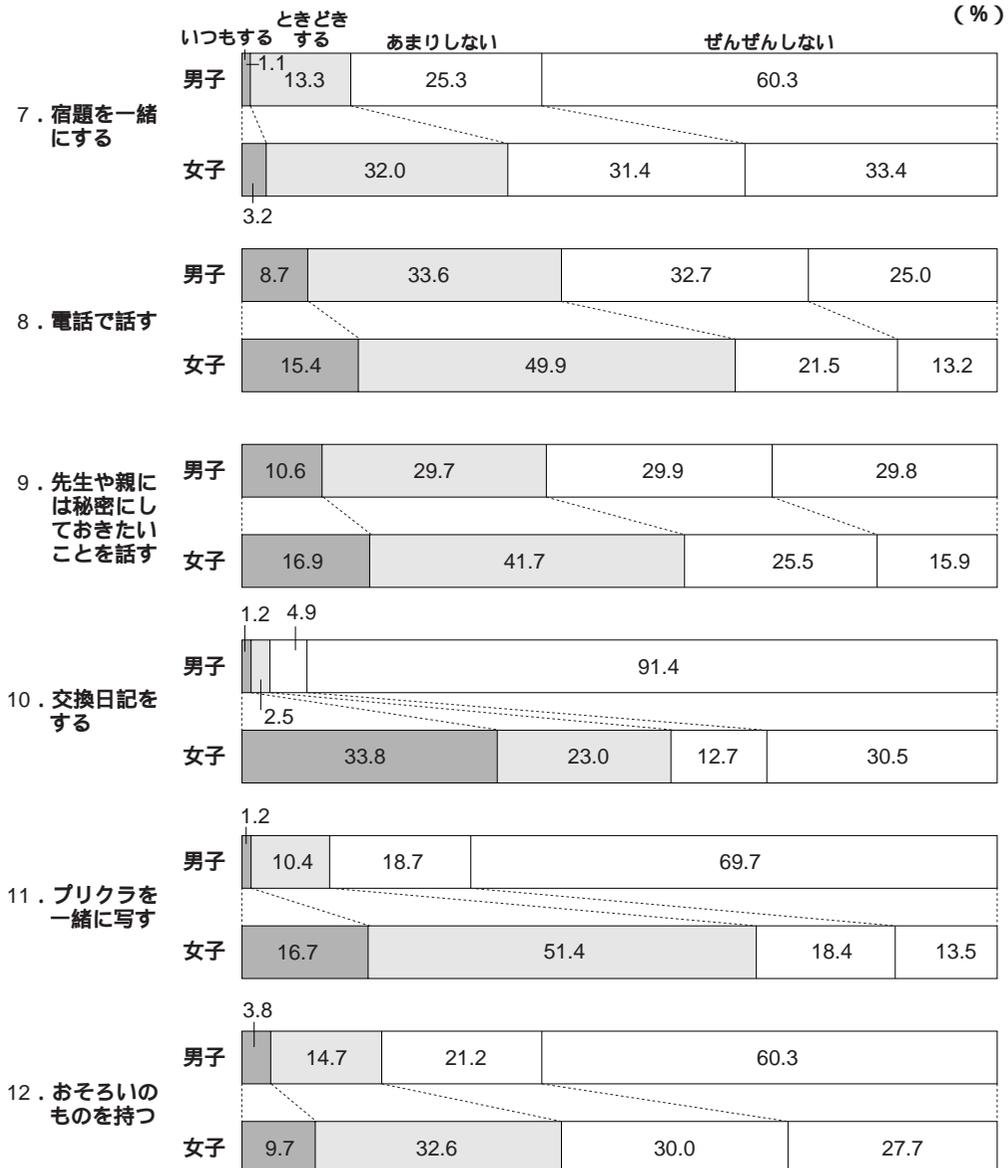


(次ページへ続く)

り家庭学習で忙しく、クラスのグループの友だち関係は学校内にとどまっているようだ。

図 11 で男女を比較してみると、家に帰ってからは、女子よりも男子の方がグループの

友だちとよく遊んでいる。「放課後、家に帰ってから」や「日曜日・休日」に、グループの友だちと「いつも遊ぶ」という回答は、男子の方が1割前後高い。



## &lt;友だちとのコミュニケーション&gt;

引き続き図11で、電話で話すなどの友だちとのコミュニケーションをみてみよう。

友だちとの言葉を介したコミュニケーションにかかわる項目として、「おしゃべりをする」「電話で話す」「先生や親には秘密にしておきたいことを話す（秘密を話す）」「交換日記をする」という4項目を設定した。

「おしゃべり」については、図10でみたように「いつもする・ときどきする」を合わせて96%と、ほとんどの子どもがしているが、「いつも電話で話す」子は12%、「秘密を話す」子は14%でしかない。

また、これらの言語を介するコミュニケーションに関しては、男女差が顕著である。

いずれの項目も、男子よりも女子の方がよくしている。中でも交換日記については、女子では「いつもする（34%）」「ときどきする（23%）」を合わせて6割近くになるが、男子では逆に「ぜんぜんしない」子が91%と、大差である。

その他の「プリクラを一緒に写す」「おそろいのものを持つ」という項目も、男女差が大きい。これらの行動も、女子の方がより多くしている。

## (3) 大きなグループの特徴

先にみたように、グループの平均人数は5.6人であるが、グループの規模によって、友だちとの親密度に差はみられるのだろうか。

表20 グル - プの人数 × クラスの人気者が入っているか

(%)

	とても そう	わりと そう	あまり そうでない	ぜんぜん 違う
3~4人	22.9	23.1	36.6	17.4
5~6人	27.2	33.3	25.4	14.1
7人以上	45.9	29.3	17.1	7.7

表21 グル - プの人数 × クラスの中で目立っているか

(%)

	とても そう	わりと そう	あまり そうでない	ぜんぜん 違う
3~4人	14.5	21.8	52.6	11.1
5~6人	15.3	33.6	41.8	9.3
7人以上	30.3	32.7	30.1	6.9

グループの雰囲気の受け止め方については表20、表21に示したように、とくに7人以上の大きなグループで、「自分のグループにクラスの人気者が入っている」「クラスの中で目立っている」と思っている子どもが多く、クラスの中でマジョリティであることが意識されている。

例えば「クラスの人気者が入っている」について「とてもそう思っている」子は、7人未満のグループでは25%前後であるが、7人以上のグループではその倍の46%になる。同様に「目立っている」と「とてもそう思っている」子は、7人未満のグループでは15%前後だが、7人以上のグループではその倍の30%になっている。

表は省いたが、「学習班や給食の時間などで行動を共にしたいか」についても、7人以上のグループの希望者がより小さいグループの子より1割ほど多かった。ただしグループの人数が多くなると、仲良しの度合いも様々になるのだろう。座席については「一緒に並びたくない人もいる」とする回答が小さいグループよりも多くなる。

他方で「グループの人と一緒に遊ぶか」では、表22、表23に示したように、やはり7人以上と人数が多いグループの方が、休み時間も帰宅後も一緒に遊んでいる。少人数のグループの方が結束が固いということではなさそう。逆に大きいグループの方が、集団性を備えているといえるのかもしれない。

表22 グル - プの人数 × 休み時間に一緒に遊ぶか

(%)

	いつも する	ときどき する	あまり しない	ぜんぜん しない
3~4人	67.3	29.0	3.7	0.0
5~6人	71.1	26.2	1.5	1.2
7人以上	78.9	19.3	1.3	0.5

表23 グル - プの人数 × 家に帰ってから一緒に遊ぶか

(%)

	いつも する	ときどき する	あまり しない	ぜんぜん しない
3~4人	18.0	54.9	16.7	10.4
5~6人	15.0	60.8	17.3	6.9
7人以上	24.8	53.2	15.5	6.5

また人数の他にグループの雰囲気によっても、グループの凝集性や親密度が異なるが、中でも注目されるのが「クラスの人気者が入っている」グループである。表24、表25に示したとおり、「みんなの気が合う」グループの場合はもちろんだが、「クラスの人気者

が入っている」グループは、学校生活の場面でも遊びの場面でも、グループの友だちと一緒に過ごしたいという希望が強くなる。カリスマ性のあるクラスの人気者に惹かれるようにして、親密なグループができ上がっている様子が見えてくる。

**表24 グループにクラスの人気者が入っているか**  
 × 学習場面や遊びの場面で、一緒に過ごしたいか  
 (%)

	とても・わりとそう		あまりそうでない ぜんぜん違う
家に帰ってから「毎日のように遊ぶ」	19.6	>	12.8
家に帰ってからも「とても遊びたい」	42.8	>	28.4
学習班を「とても組みたい」	61.8	>	46.6
給食を「とても食べたい」	63.2	>	45.0
隣の席に並びたい	71.5	>	67.3

**表25 グループにクラスの人気者が入っているか**  
 × 友だちとの遊び方・過ごし方  
 (%)

	とても・わりとそう		あまりそうでない ぜんぜん違う
休み時間に一緒に「いつも」遊ぶ	74.3	>	65.1
家に帰ってから一緒に「いつも・ときどき」遊ぶ	79.7	>	66.9
日曜日や休日に「いつも・ときどき」遊ぶ	62.3	>	53.2
おしゃべりを「いつも」する	86.6	>	78.9
秘密を「いつも・ときどき」話す	55.0	>	41.6

## グループの友だちとの絆)))

### (1) 友だちのために自己犠牲を払うか

以上みてきたような仲良しグループの友だちは、どの程度「心の友」となっているのだろうか。単なる遊び友だちにとどまるものなのか、あるいは「友だちのためなら何でもしてあげたい」と思えるような絆の強いものなのだろうか。そこで友だちとの間で葛藤を感じるような場面をいくつか設定し、そうした場面での行動の仕方をたずねてみた。なおこの設問には、グループに入っていない子にも「想像して」答えてもらっている。

まず図12では「<グループの子ではない友だち>と遊ぶ約束をした後で、<グループ

の友だち>から遊びに誘われたら、あなたは どうしますか」とたずねている。もし仲良しグループの友だちとの絆が強く、一緒に遊びたいと思っていれば、グループの子ではない、ふつうの友だちとの約束は断るのではないかと の観点で設定した項目である。すなわち約束を優先するか、絆を優先するかである。

図が示すように「約束した友だちを断って、グループの友だちと遊ぶ」と、グループの友だちとの絆優先の判断をする子どもは3分の1であり、逆に3分の2は「グループの友だちを断って、約束した友だちと遊ぶ」と約束優先の判断を下している。ふつうの友だちとの約束を破っても仲良しと遊ぼうとするほど

図12 グループ以外の友だちと遊ぶ約束をした後で、グループの友だちに誘われたら × 性

	(%)	
	約束した友だちと遊ぶ	グループの友だちと遊ぶ
男子	65.7	34.3
女子	69.0	31.0
全体	67.2	32.8

強い絆は、仲良しとの間になさそうである。

図13は「あなたのグループの友だちが、『お金を落としたから、千円貸してほしい』と言ってきました。お金を貸したことを親に言うと、あなたはひどく叱られます」と場面を設定し、親の言いつけを重視するか、友情を重視するかをたずねたものだ。図が示すように「親にわからないように、貸してあげる」子は4分の1にとどまり、多くは「わけを言って断る」と言っている。

図14は「あなたのグループの子がガラス

を割ったとします。その子は叱られるのがこわくて、あなたがしたと先生に言いました」と場面を設定し、どうするかをたずねているが、「黙って先生に叱られてあげる」と、友情ゆえに友だちの罪をかぶる子は4分の1にとどまり、多くは「『自分ではない、その子だ』と先生に言う」と答えている。子どもたちは男女を問わず、友だちとの絆よりも、善悪の道徳的判断を優先していることがわかる。

では、仲良しグループの友だちとの絆は、

図13 グループの友だちから「お金を落としたから、千円貸してほしい」と言われたら × 性



図14 グループの友だちがガラスを割って、あなたにぬれぎぬを着せたら × 性



<ないに等しい>ものなのだろうか。友だち関係の中で生じる深刻な問題として、いじめ状況を上げてたずねてみた。

図15に示したように「あなたのグループの人が、他のグループからいじめられたら、あなたはどうしますか」では、「自分がいじめられるかもしれないので、何もしない」とする子はわずか10数%にとどまり、「自分がいじめられるようになって、いじめをやめさせる」とする子が9割近くに達している。実際の場面でどうするかはまた別として、こ

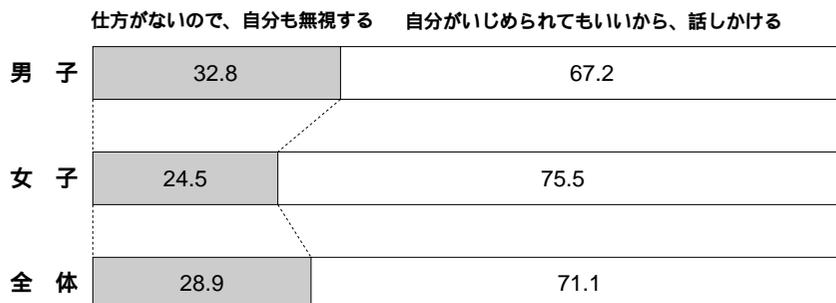
こでは友だちを守ろうと、自分の不利益を省みず行動を起こそうとする姿勢がみられる。

同様な「いじめ」行為として、「あなたのグループの友だちが、グループのみんなから無視されているとします。そんなとき、あなたはどうしますか」とたずねたところ、図16に示したように「仕方がないので、自分も無視する」という答えは3割近くで、大勢としては、「自分がいじめられてもいいから、話しかける」とする子が7割を占めており、「自分はいじめられても」という自己犠牲の

図15 グループの人が、他のグループからいじめられたら × 性 (%)



図16 グループの友だちが、グループのみんなから無視されたら × 性 (%)



態度が多少とも見いだされる。

ではグループ内での自分に対する攻撃にはどのような態度を示すのだろうか。図17、図18では、秘密をもらされたり悪口を言われた場合についてたずねている。「『他の人には言わないで』と言って話した秘密なのに、その友だちが誰かに話してしまった」とき、

あるいは「悪口（欠点など）を言われた」ときに、「怒ってつきあわないようにする」は、1割程度にとどまっている。「仕方がない（がまんする）」「平気」という子は2割強から3割強で、多くは「怒るが、あやまれば許す」と答えており、ここに淡いとはいえ、友情の存在が見いだせるのではなかろうか。

図17 グループの友だちが、「他の人には言わないで」と言って話した秘密をもらしたら × 性 (%)

	怒って、つきあわないようにする	怒るが、あやまれば許す	仕方がない（がまんする）	平気
男子	13.0	62.4	16.9	7.7
女子	9.7	67.4	16.8	6.1
全体	11.5	64.7	16.9	6.9

図18 グループの友だちに、悪口(欠点など)を言われたら × 性 (%)

	怒って、つきあわないようにする	怒るが、あやまれば許す	仕方がない（がまんする）	平気
男子	11.3	54.1	22.6	12.0
女子	13.2	50.1	24.6	12.1
全体	12.2	52.3	23.5	12.0

## グループに入っていない子ども)))

先(P.22表8)でみたように、グループに入っていない子どもが全体の8%いた。これらの子どもがグループに入っていない理由は、表26によれば、「入りたかったけれど、何となく入れなかった」がもっとも多く(37%)、次いで「自分の自由がなくなるから、入らなかった」「入りたいグループがなかったから、入らなかった」という自分の意思があげられている。負け惜しみかもしれないが、「入れてもらえなかった」は1割にみたない。

そして表27に示したように、「どこかのグループに入りたいか」とたずねても、「とても入りたい」が19%、「少し入りたい」が12%で、思ったよりグループへの加入には気乗り薄のようである。「どちらでもいい」「あまり・ぜったい入りたくない」がそれぞれ3分の1ずついる。

というのも表28に示したように、これら

の子は休み時間に仲間外れになることもなく、たいてい「同じクラスの友だち」と遊んでいるからだろう。クラスでグループに入っていない子の多くはマイペース型で、群れる必要を感じないのかもしれない。

では、グループに入っているかどうかによって、葛藤場面での対応が異なるものかどうか、表29でみてみよう。違いがみられたのは、遊ぶ約束に関するグループの友だち優先と、グループの子のいじめ状況に対する対応、そして自分への攻撃に対する寛容度の4項目である。いずれもグループに入っている子どもの方が、10%ほど、友だちとの絆を感じさせる回答が多かった。

他方で道徳的な善悪の判断にかかわる項目については、あまり差がみられず、小学生の子どもにとっては「いけないことは、やっぱりいけない」ものようである。

表26 グループに入らなかった理由(グループに入っていない子)  
(%)

入りたかったけれど、何となく入れなかった	36.5
自分の自由がなくなるから、入らなかった	31.3
入りたいグループがなかったから、入らなかった	23.5
入れてもらえなかった	8.7

表27 グループに入りたいか(グループに入っていない子)  
(%)

とても入りたい	少し入りたい	どちらでもいい	あまり入りたくない	ぜったい入りたくない
18.5	11.9	35.5	16.3	17.8

表28 休み時間をどう過ごしているか（グループに入っていない子）  
（％）

同じクラスの友だちと遊ぶ	70.3
クラスの違う友だちと遊ぶ	11.4
先生と遊ぶ	0.6
1人で遊ぶ	17.7

表29 グループに入っているかどうか × 友だちとの絆  
（％）

		グループに入っているかどうか	
		入っている	入っていない
友 だ ち の 絆	1.遊ぶ約束をしても、グループの友だちと遊ぶ	34.0	> 23.4
	2.お金を貸してほしいと言われたら、貸してあげる	24.9	21.1
	3.ぬれぎぬを着せられたら、黙っている	23.1	21.6
	4.グループの人がいじめられたら、やめさせる	88.3	> 75.4
	5.グループの人が無視されていたら、話しかける	70.4	70.9
	6.秘密をもらされても、あやまれば許す	65.4	> 55.4
	7.悪口を言われても、あやまれば許す	53.2	> 38.9

> は10%以上差のある項目

## 3

## 「一番気の合う仲良し」をめぐって



## 一番気の合う仲良しはどこにいる？ )))

さて冒頭に指摘したように、ここで改めて「一番気の合う仲良し」、昔の「親友」に近い友人の有無を探ってみる。

表30では、「一番気の合う仲良しの友だち」がいるかどうかをたずねている。ただの「仲良し」では範囲が広がりすぎることを考えて「一番気の合う」を重ねて聞いているが、9割の子が「そうした友だちがいる」と答えている。「いない」と答えた子は1割にすぎないが、少ないとはいっても、そうした子の存在は日頃から十分に気にかけるべきだろう。

表31では、「一番仲良しの友だち」がどこ

にいるかをみている。全体の3分の2は「一番気の合う仲良し」がクラスの仲良しグループの中にいる。すでにみてきたように、子どもにとって仲良しグループが居場所になっているのは、こうした理由からであろう。しかし違うクラス、違う学校と答えた子も合わせて24%と決して少なくない。何かの時期に、どこかの場で得た仲良しを超える「一番の仲良し」が、今なお自分のグループの中で見いだせない、または少なくとも同じクラスの中にさえ見いだせずにいる子どもの存在も気にかかる。

表30 一番気の合う仲良しの友だち × 性  
(%)

	いる	いない
男子	88.1	11.9
女子	91.4	8.6
全体	89.7	10.3

表31 一番気の合う仲良しの友だちは、クラスのグループの人が × 性  
(%)

	クラスの 仲良しグループ	グループではな いが同じクラス	違うクラス	違う学校
男子	64.8	11.9	14.8	8.5
女子	68.5	7.5	13.4	10.6
全体	66.5	9.9	14.1	9.5

## 一番気の合う仲良しとの絆の深さ)))

では、「一番の仲良し」との心の絆はどの程度のものか。

図19から図21は、友だちが規則違反をしたときに先生に告げ口をするか、それともその子に直言するかを手がかりに、「一番の仲良し」との心の絆の強さを探ろうとしたものだ。

まず、友だちを「一番の仲良し」「ふつうの友だち」「気が合わない友だち」に分け、その子が学校で禁止されているものを持ってきたときに、それを先生に言いつけるか、本人に直言するか、かばって知らないふりをするか聞いてみた。すなわち、ここでも「ルール優先」か「絆優先」かを選択させてみた。

さすがに3種類の友人間で、「告げ口」をするかどうかには、差がみられる。先生に言いつける子の割合は、「一番の仲良し」では6%、それが「ふつうの友だち」になると12%と倍増し、「気が合わない友だち」では一挙に38%となる。おもしろいのは性差で、いずれも男子の方がややルール優先だ。

仲良しの友だちにせよ、ふつうの友だちにせよ、「本人に注意する」と答える子の割合は多く、6割前後に達する。しかし「気が合わない友だち」となると逆転して、「本人に注意する」が35%と、告げ口をする子の割合を下回ってしまう。距離の遠い相手には、さ

わらぬ神にたたりなしの心境か。ここでも性差があって、女子の方がいわば直言型であることがわかる。一番の仲良しの相手に対して「本人に注意する」男子は63%だが、女子では71%となる。

そのほかで注目されるのは、どの友だちに対しても「知らないふりをする」子が27%ほどいることである。友だちをかばってのことが、当事者になることを避けているのだろうか。

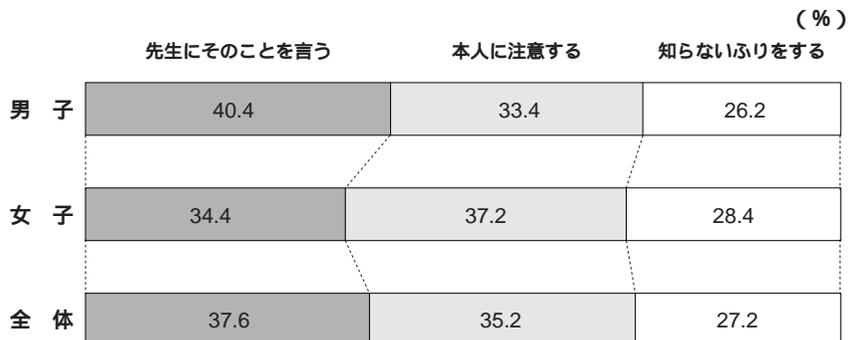
図19 一番仲良しの友だちが、学校に持ってくることを禁止されているものを持ってきたらどうするか × 性



図20 ふつうの友だちが持ってきたらどうするか × 性



図21 気が合わない友だちが持ってきたらどうするか × 性



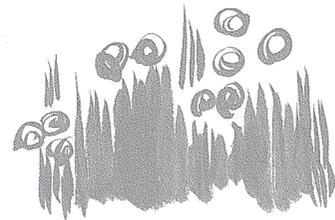
## まとめ

「いじめ」は相変わらず教室で根を張り続けている。そうした学級風土の下で、人間関係に神経を遣う子どもが多くなり、子ども同士の心の絆が弱まったと指摘する声も大きい。

本調査の結果でみると、子どもたちは学級の中でそれなりに仲良しをつくり、それなりに仲良しグループを構成し、それなりの友情を持ちあっている様子である。

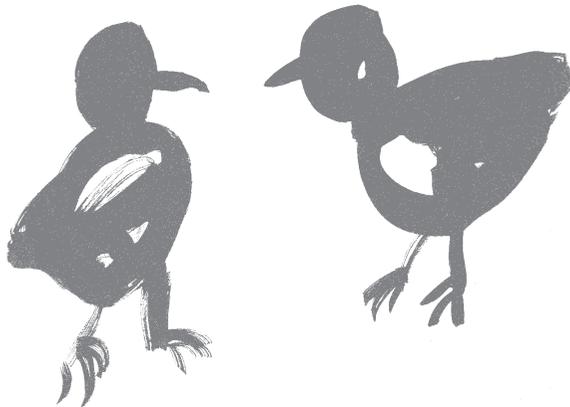
しかし、われわれ旧世代の者たちとしては、そうした人間関係や絆のありかたに若干の不

満が残る。子ども時代に信頼と愛情に支えられた人間関係を体験させることは、おとなになってからの人間関係の形成能力の基礎としてきわめて重要だからである。そして、こうした人間関係の体験をより十分なものにしていくためには、学校という場、クラスという場を離れて、放課後の地域での子どもたちの生活を保障する必要があるのではないだろうか。



# わいわい・ガヤガヤ 子どもの広場

東京学芸大学教授	深谷和子
東京学芸大学大学院生	平野真穂
東京学芸大学大学院生	根ヶ山里織
東京学芸大学大学院生	吉野真弓



# わいわい・ガヤガヤ 子どもの広場

子どもたちに聞いてみたい。  
君たちの中の時間の流れ、君たちの心の風景、君たちのつづやき。  
そして暮らしの四季。

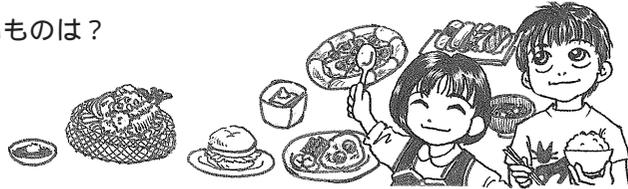
日頃のアンケート調査では拾い上げられない、子どもたちの心の世界を  
のぞいてみました。

小4・5・6の子どもたち246人との交信をお届けします。

( 印は子どもの声、 < >内はコメントです)



今日の夕ご飯に食べたいものは？



ローストビーフ、刺身、大根おろし、リゾット、のっぺい汁、鯨汁、鮭の味噌煮、寿司、冷や奴

<グルメ一家なんだね、お宅は>

ご飯、味噌汁、冷や奴、しらす、鮭、ほっけ、海草サラダ

<飲助になるね、君は>

冷やし中華、もめん豆腐、えびグラタン、牛肉の大和煮、大根の味噌汁、お茶漬、ビーフシチュー、きつねうどん、高野豆腐、炊き込みご飯、納豆、ハム、大根の煮つけ、えびドリア

<お母さん、レパートリーが広そうね>

あっさりしたものなら何でも  
そば(冷)、冷やし中華、うどん(冷)  
冷めん、そうめん、冷やし中華、あっさり  
したものとか.....

おかゆ、焼き魚、白いご飯、野菜、味噌汁  
<暑さ当たりしてますね、みんな>

(この調査は、7月に入ったとたん、東京で連続8日間熱帯夜が続き、史上何番目かの暑さの時期に実施されました)

ふぐ料理、刺身、ピフテキ、寿司、ししゃも、ラーメン、ピザ、冷や奴、湯豆腐  
フライドチキン、最高級和牛ステーキ、鹿肉

マグロのかま焼き、大トロ握り、ご飯、サラダ(トマト入り)、マスクメロン、パイナップル

焼き肉(高級な)、寿司(特上)、焼き肉(上カルビ)、ステーキ

<夕飯に特上寿司食べるのは、20年先よ!>

寿司、たらこスパゲッティ、目玉焼き、鯛の刺身、ピザ、ふかしたじゃがいも

大トロの寿司、学校給食のドライカレー

<今の給食はおいしいらしい、大トロと並ぶんだ!>

焼きそば以外なら何でもいい

<お母さんて、焼きそばしか作らない人なのね>

インスタントラーメン、冷凍食品、寿司、ピザ  
<もしかして、お母さんへの皮肉?>

炊き込みごはん、野菜の漬物、冷たい麦茶  
<バランスとれてるね、おつだね!>

うまいもの  
<パーフェクト! それにつきるね>



## お母さんの得意料理は?



チャーハン  
オムライス  
そば、スパゲッティ  
チャーハン、カレーライス、味噌汁  
玉子焼き  
全部ふつう  
カレー、煮物、手抜き料理  
よく食べるようなご飯  
<最近のお母さん、料理しなくなってるんだ?>

なし  
<なしって? どれも得意でないわけね>

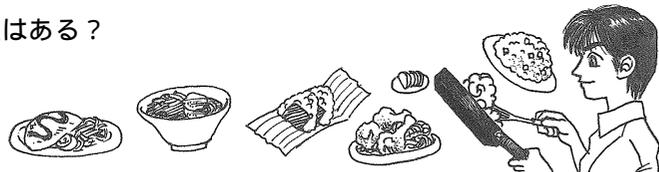
残り物のチャーハン、インスタント(レトルト)食品、スパゲッティ(かにとかアボ

カドとかトマトとか入ってるの)  
手作りパン、手作りピザ  
<手作りって聞くと、なんだかほのぼのしてくるね>

いろいろ(だって給食のおばさんだから)  
作った料理は全部うまい。  
中華、和食、洋食全部得意!  
ポテトグラタン、野菜の煮物、煮魚、漬物、あえ物、酢の物、きんぴらごぼう、魚のムニエル、厚焼き玉子、豚汁、マリネ、カレー、スパゲッティミートソース、チャーハン、肉じゃが、切り干し大根の煮物、おからの煮つけ、ひじき、その他3、40品ほど...みんなおいしいよ。  
<いいね、君んちの子になりたいよ>



## お父さんが作る料理はある?



ない  
まーぼーどうふ  
野菜ラーメン  
納豆ご飯  
<いいよね、納豆ご飯だって、立派な1品さ。君に食べさせたくて、作るんでしょ。何にもできないお父さんがね>

?  
私の家のお父さんは、作ったことがない。  
ほとんどない、作るとしたら簡単な朝食。  
なし(なかなか作らない)  
僕のお父さんは作りません!  
<!の意味を教えて>

カップラーメン（まあまあ）  
カレー、ドロドロ、まずい。  
玉子焼き、ラーメン、どれもまずい！  
チャーハン、得意そうに作るけど好きでない。  
インスタントラーメン、少しおいしい。  
<お父さん、がんばって！ ハートだけじゃ子どもは納得しないものなんです>

葱トロどん、チャーハン、オムレツ、オムライス  
クロワッサンでハムやキャベツとか入れる食べ物  
もんじゃ、たこ焼き、お好み焼き  
シーチキン入り玉子焼き、目玉焼きベーコン入り  
<どれもおいしそうだね>

玉子焼き（すごく得意）  
目玉焼き、玉子焼き、すごくおいしい。  
ラーメン（インスタントじゃない）、オムレツご飯、お母さんのよりうまい！  
<それオムライスって言うのよ。でもお父さんが作るの、オムレツご飯でいいかもしれない>

おにぎり（梅）  
<お父さんの作るおにぎりって、きっと大きいだろうね。海苔をどーんと巻いてね。遠足に持ってったの？>

お父さんが昔よく作ったじゃがいも炒め、とてもおいしかった。  
<お父さん！ じゃがいも炒めぐらい、どんなに忙しくても作っておやりなさいよ。子どもたちは胸キュンで待ってるんだから>

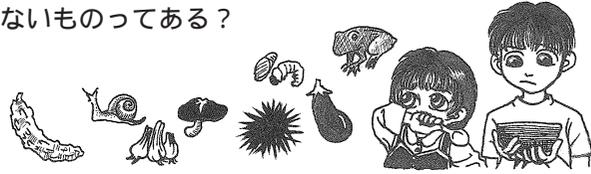
即席ラーメン、すごくうまい！  
<まずくもおいしくもなりようがないと思うけど、魔法の粉をふりかけてるのかな>

全部作れる、お母さんよりおいしいよ。  
何でも作れる、すごいおいしい。  
カレーライス、味噌汁、うどん、そば、お好み焼き、豚汁など全部おいしい。  
マカロニスープ、それはとってもおいしいです。  
スパゲッティ、とてもおいしくて2皿食べたことがあります。  
たぶん和食なら何でも作れると思います。お父さんはレストランで働いていますから。  
いろいろ作る。おいしいよ！  
何でも作れるよ。しかも、なかなかおいしいよ！  
<いいね、いいね>

鶏の唐揚げ、スパゲッティ・ペペロンチーノ、ピザ、レモンとナッツのサラダ、煮物、ししゃもの唐揚げ、漬物  
焼き肉屋さんにあるもの全部。  
ステーキ、焼き肉めっちゃおいしい。  
魚（釣ったばかりで新鮮）の刺身、魚のお焼き、魚のお味噌汁  
おそば、うどん、カレー、親子どんぶり、ラーメン（職業は日本そば屋です）  
海鮮チャーハン  
鰺のたたき  
<本格派、男の料理の数々！>



あなたがぜったい食べられないものってある？



嫌いなものはありません。

<いい子ね>

果物全部、梅干し

ゆでキャベツ

しらすの煮てないもの

<私も嫌だ！>

アボカド、昆虫料理

くさやの干物、虫、蛙、ケーキの生クリームがいっぱい詰まってるもの

しいたけ、グリーンピース、食用蛙

なす、エスカルゴ、蛙の唐揚げ、くさや

(大嫌い、まずい！)

<だれ？ そんなものを子どもに食べさせる人は？ 嫌いでよろしい！>

なす、長葱のまるごと、干しぶどう、グリーンピース、貝類

<君んちは長葱をまるごと食べるの？>

レバー、鰻、かに味噌、フォアグラ、うに、貝、きのこ、しいたけ、セロリ...気持ちの悪い食べ物全部。

<そう言われてみると、どれも気持ち悪いなあ。人間って何でも食べちゃうんだね、悪食でオソロシイ。君の方が、よほどまともかもしれない>

鰻、うに、あなご、伊勢えび、メロン、セロリ、パパイア

<高価なものは、嫌いでよろしい！ほんの子どもなんだから>

らっきょう、にがうり、ミント、うに、レバー、生がき

<わかる わかる！>

冷や奴、なすを焼いたもの

<居酒屋の定番おつまみなんだけどね>

いか、かに、うに、えび

<コレステロール系嫌ってる家族がいるんでしょ、お父さん？>

キムチ、わさび、カラシ、梅干し

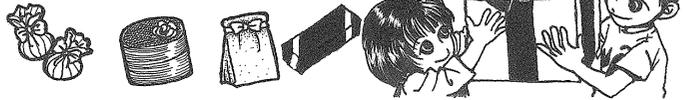
<辛い辛い系ね>

ピーマン、キャベツ、アスパラ、玉ねぎ、トマト、いんげん、セロリ、えのきだけ、大根、レタス、かぼちゃ、にんじん、枝豆、なす、メロン、ライチ、スイカ、いか、たこ、レバー

<君、野菜に恨みでもあるの？>



たくさんお金を持ってたら、お父さんとお母さんに何を買ってあげたい？



お母さんに

洗濯機

切れやすく安全な包丁、きれいなミシン  
システムキッチン  
ミシン糸、糸通し  
エプロン（よく使うから）

料理の道具

ロボット（家事をしてくれるの）

<家事の好きな、やさしいお母さんなのね>

マッサージ機

温泉

肩もみ機

<お母さんの疲れてるのちゃんと見てあげてるんだ>

バッグ

ピアス（お母さんが「いいねー」といったから）

化粧品（お母さんは、あまり化粧品を持ってないから）

靴（お母さんに新しい靴を買ってあげたい）

<きれいなお母さんでいてほしいものね>

指輪

宝石

シャネルのバッグ

アクセサリ

ダイヤモンド（3m）

ダイヤモンドの指輪、エメラルドの指輪、  
金銀、パール

チョウ高いペンダント（1兆円のもの）2  
kgのもの

<ずいぶん高いものだね。ほんとにお母さん、ほしがってるのかな？>

一軒家

旅行券

世界一周する飛行機、船などの券、大きな家

ハワイの別荘

別荘を作ってあげる。旅行につれていく。宝石を買ってあげる。飛行機を買ってあげる。

<みんなとても豪華！>

お父さんに

ネクタイ

会社用のカバン

ひげそり

時計（時間がわかるように）、新しいカバン（持っていくとき、軽いように）

パソコン（そろそろ新しいのがほしいと言っていたから）

車

カーナビつき車

ウインドウズ、デジカメ、メモリ、いろいろなソフト

コンピュータ

<お仕事ご苦労さま、O A化でお父さんも大変ね>

スキー道具

いろいろな種類のジープ

マージャン台（好きだから）

つりの道具

64のゲームソフト

ゴルフのクラブ

ダイエーホークスの帽子、サイン（ダイエーホークスのファンだから）  
スカイパーフェクTV  
最高級ゴルフセット  
<趣味のことしてるお父さんも素敵だね>

ビール券  
お酒やビール  
<何て言ったって、これね！>

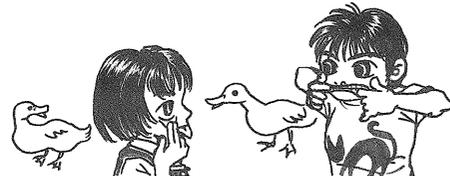
お風呂  
温泉

リラクスマシーン  
2泊3日の温泉旅行  
<お父さん、いつも「疲れた、疲れた」って言ってるのね>

世界一周旅行、宇宙旅行  
ハワイにつれて行ってあげたい。  
3階建てエレベーターつき豪華住宅、カラーコピー機、大きな会社（お父さんを社長にしたい）  
会社（お父さんをもうからせて、豊かな生活をしたいから）



## 6 最近、ムカついたのはどんなとき？



友だちの間で

友だちが知ったかぶりをした。  
本当は違うのに、自分が合っていると思って“しつこく”言ってくる人。  
私が友だちにぶつかって何回もあやまったのに、わざと「痛い」と大きな声で言われた。

おにごっこをしているとき、私がねらわれて「おそい人（足が）ぱっかりねらうのやめなよ」と言われた。

ハゲと言われたとき。僕の名前を歌にしている人。おしりをさわってくる人。

年下になめられたとき。

何もしていないのに、知らない人にぶたれた。

何もしていないのにホームレスに蹴られた。

<こういう被害にあったら、おとなに訴えよう。子どもだと思って、ひどいことをする人もいるね>

こっちを向きながら内緒話（こしょこしょ）をされたとき。

悪口を言われるとき。無視されるとき。「えーっ」と言われるとき。

友だちが「（私）のこと大好き」と言っておきながら、私やいろいろな人の悪口を言うことを聞いたとき。

デブとか100kgになればいいのになって、紙に書いてあるのを見た。

<陰険だね。いじめだね>

くそ暑い時期に嫌いな人が「ベタベタ」くっついてきたとき。嫌いな人にいや～なことを言われたとき。嫌いな人にふざけてぶたれたりしたとき。嫌いな人が、一緒に帰る約束もしていないのに、「何で先に行くの？」とか言って、いつも私が速く走ってもストーカーみたいについてくるとき。一緒にバレーボールをしていたら、嫌いな人が私に来たボールまでとって私にやらせてくれなかったこと。もっとたくさんいろいろ。

<あなた、わがままじゃない？>

登校班で1年生がいうことをきかないでム

かつく。  
計画委員でみんなを注意しても聞いてくれないとき。  
<それが人生なんだけどね>

家庭の中で

私が先にテレビを見ていたのに、姉にテレビのチャンネルを変えられたとき。  
ぼくの飯を食われたとき。お兄ちゃんがちょっかいを出すとき。  
お姉ちゃんが私の大事な靴を、はかないでって言ったのに、はいて、ちょっと壊した。  
お兄ちゃんたちだけ、マクドナルドで昼ご飯を食べた。  
弟に落書きされた。  
お兄ちゃんにごめんねって言ったのに、言っていないと誤解された。  
<所有権の主張は重大問題だね。小さいうちに、きょうだいげんかはどしどしやるべし！>

勉強とお母さんがウルサイ！ 家の宿題が

多い！ 勉強のバカヤロー！  
お母さんもできないくせに、やたらに注意してくるとき。  
今からやろうとしているのに、親に口出しされたとき。  
<子の心親知らずかな>

先生に対して

おとなの都合で休み時間がつぶれたとき。  
いっぱい手を挙げているのに、この頃先生が指してくれない。  
先生がイヤミを言ったとき。ふざけたとき。  
<子どもは真剣に暮らしているからね。でも、おとなはときどき「冗談が通じるといいのにな～」とも思います>

その他

塾の勉強が難しいとき。  
お金を100円落とした。  
給食にししゃもが出た。  
消費税が5%になった。  
ハンカチがなくなった。



あなたの好きな歌手、タレント、スポーツ選手は誰？



流行・定番タレント

KinKi Kids  
KinKi Kids、特に堂本剛  
SMAP  
V6  
滝沢秀明  
<やっぱりジャニーズは強いな>

B'z  
GLAY  
JUDY AND MARY  
T.M.Revolution  
PUFFY  
Every Little Thing  
LUNA SEA  
SIAM SHADE  
<流行歌を出す人たちは欠かせませんね>

募集！

「わいわい・ガヤガヤ - 子どもの広場 - 」の調査にご参加くださるクラスを募集しています。

1. クラス単位でお申し込みください。記入用紙( B 4 ・ 2 枚程度 )はお送りいたします。
2. 書いたお子さんが特定できるような、プライバシーにふれる内容は拾いませんので、ご安心ください。
3. 10クラス程度を募集します。はじめにまとめて学校名を下記のように入れさせていただきますが、ご都合で伏せていただいても結構です。  
小学校、 小学校、 小学校.....の4年、5年、6年の皆さん
4. ご応募が多いときは、ご希望に添えない場合もありますことをお含みください。

globe

安室奈美恵

SPEED

SPEED、特に島袋寛子

知念里奈

<小室サウンド&アクターズスクールはまだまだ健在！>

ポケットビスケッツ

ブラックビスケッツ

野猿

<テレビ番組の影響力を見せつけられました>

広末涼子

野村佑香

<おとなの目から見ても可愛いもんね>

長渕剛

松山千春

エアロスミス

<渋い趣味してるね、特にエアロスミス。

ハードロックを聴く小学生かぁ.....>

長山洋子

伍代夏子

<えっ？ 演歌なんて聴くんだ！ これもまた渋いじゃん>

<それにしてもおとなのあなた、ここに出てくる名前の何割知ってますか！>

スポーツ選手

三浦知良

サッカーの日本代表選手全員

中でも、 中田英寿

井原正己

川口能活

中山雅史

呂比須ワグナー

相馬直樹

名波浩

ロナウド

ロベルト・パジジョ

デルピエロ

ポバン

わいわい・ガヤガヤ  
ー子どもの広場ー

ロベルト・カルロス

<それにしても、ワールドカップの影響力はすごいね！ 外国の選手までよくも知ってるもんだね>

原田雅彦

<時間がすぎても彼の涙はよかったね、もう一度見たいね>

巨人の選手全員

中でも、 川相昌弘  
元木大介  
松井秀喜  
清原和博

斎藤雅樹

ヤクルトの選手全員  
中でも、 飯田哲也  
古田敦也  
ホージー  
稲葉篤紀  
石井一久

イチロー

<巨人&ヤクルト&イチローの人気は定番化してるけど、どうしてほかのチームの名前がでてこないんだろ>

<それにしても情報化時代だね！ おとなは負けるね>

この〔わいわい・ガヤガヤ - 子どもの広場 - 〕は1998年6月～7月、首都圏の小学4・5・6年生246名にオープンアンサー形式の質問紙を配布し、その中からアンケート調査とは別の形で、子どもの本音を拾い出そうとしたものである。

なお、本文中のコメントは深谷研究室で皆で話し合った内容をまとめたものである。

## ちょうさのおねがい

これはテストではありません。日本の子どもたちにたくさんおねがいで、友だちのことを聞いています。せいせきにかんげいがないので、思ったことをそのまま答えてください。

### やりかたの練習

あなたはカレーライスがすきですか？

とても すき	かなり すき	ふつう	すこし きらい	とても きらい
1	②	3	4	5

あなたがもしカレーライスを「かなりすき」だと思ったら  
上のように番号のところを でかこんでください。

1 まず、学年などについて書いてください。

1) 学校の名前..... ( ) 小学校

2) 学年..... ( ) 年

3) 男・女..... ( 1 . 男子 2 . 女子 ) < でかこむ >

資料1 調査票見本

4) あなたには、きょうだいがありますか。

(1)あなたも入れて、きょうだいは( )人

お兄さん	( )人	} →(いないときは(0)人と書いてください。)
お姉さん	( )人	
弟	( )人	
妹	( )人	

(2)あなたは、「きょうだいの友だち」といっしょに遊ぶことがありますか。

毎日のようにある    ときどきある    ほとんどない    ぜんぜんない  
 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4

5) あなたには、近所によくいっしょに遊ぶ、クラスや学年のちがう友だちが何人くらいいますか。

	いない	1~2人	3~4人	5人以上
1. 年上の人で.....	1 —————	2 —————	3 —————	4
2. 年下の人で.....	1 —————	2 —————	3 —————	4
3. 同じ学年の人で.....	1 —————	2 —————	3 —————	4

6) 学校の外で、クラスの人以外に、なかよくしている友だちがいますか。

	いる	いない	行っていない
1. じゅくで.....	1 ———	2 .....	(3) 行っていない
2. ピアノなどのおけいごと.....	1 ———	2 .....	(3)
3. 地いきのスポーツ教室(野球のリトルリーグやサッカー・チームなど).....	1 ———	2 .....	(3) 入っていない
4. 地いきの子ども会.....	1 ———	2 .....	(3) 入っていない
5. 児童館や子ども文化センター.....	1 ———	2 .....	(3) 行っていない
6. 近所のおさななじみ(小さいころからの近所の友だち).....	1 ———	2	
7. お母さんやお父さんの友だちの子ども.....	1 ———	2	

2 クラスの「なかよしグループ」について聞きます。  
 <グループとは、休み時間のときに、よくいっしょに遊ぶ仲間のことをいいます。>

1) あなたは、クラスで、どこかのグループ(なかよしの仲間)に入っていますか。

1. 入っていない
2. 入っている ( )人くらいのグループ

2) クラスに「なかよしグループ(なかよしの仲間)」はいくつくらいありますか。  
 (2人が3人の小さいグループも入れます。)

( )グループ そのうち

男子だけのグループ ( )つ
女子だけのグループ ( )つ
男女まざったグループ( )つ

3) クラスに、どのグループ(なかよしの仲間)にも入っていない人はいますか。

1. いる 男子( )人 女子( )人
2. いない

3 あなたには今、「親やきょうだいよりも気が合う友だち、親やきょうだいに話せないことでも、話せる友だち」がいますか。それを「(一番気の合う)一番なかよしの友だち」とよぶことにして、つぎの質問に答えてください。

1) あなたには今、「(一番気の合う)一番なかよしの友だち」がいますか。

1. いる
2. いない

2) 「(一番気の合う)一番なかよしの友だち」は、クラスのグループの人ですか。

1つだけに○をつけてください。(いない人はとばしてください。)

1. クラスのなかよしグループの友だち
2. グループではないけれど、同じクラスにいる
3. ちがうクラスの人
4. ちがう学校の人

## 資料1 調査票見本

## 4 いろいろな友だちのことについて聞きます。

1) あなたには、クラスの中に、どんな友だちがいますか。

- 1. あなたのなかよしグループの友だち ( )人
- 2. ふつうの友だち ( )人
- 3. あなたとあまり関係のない人 ( )人
- 4. なんとなく、あなたと気が合わない人 ( )人

2) 「(一番気の合う)一番なかよしの友だち」が、学校に持ってくることを禁止されているもの(たとえば、「たまごっち」や「ポケモン」)を持ってきたとします。

(1)あなたはどうしますか。

- 1. 先生にそのことを言う
- 2. 本人に注意する
- 3. 知らないふりをする

(2)では、「ふつうの友だち」が持ってきたらどうですか。

- 1. 先生にそのことを言う
- 2. 本人に注意する
- 3. 知らないふりをする

(3)では、「気が合わない友だち」が持ってきたらどうですか。

- 1. 先生にそのことを言う
- 2. 本人に注意する
- 3. 知らないふりをする

## 5 クラスの「なかよしグループ」に入っている人に聞きます。

(入っていない人は 7 へ進んでください。)

1) なかよしグループの人と、家に帰ってからもしょに遊ぶことがありますか。

- |              |             |           |              |
|--------------|-------------|-----------|--------------|
| 毎日のように<br>遊ぶ | 週に何度か<br>遊ぶ | たまに<br>遊ぶ | ほとんど<br>遊ばない |
| 1            | 2           | 3         | 4            |

2) なかよしグループの人と、家に帰ってからもいっしょに遊びたいですか。

とても 遊びたい	できれば 遊びたい	どちらでも いい	別の人が いい
1	2	3	4

3) なかよしグループの人と、学校で、学習のときの班を組みたいですか。

とても 組みたい	できれば 組みたい	どちらでも いい	別の人が いい
1	2	3	4

4) 給食のとき、なかよしグループの人といっしょに食べたいですか。

とても 食べたい	できれば 食べたい	どちらでも いい	別の人が いい
1	2	3	4

5) なかよしグループの人と、となりの席にならびたいですか。

1. なかよしグループの、だれとでもいいからならびたい
2. グループの中にならびたい人もいるし、ならびたくない人もいる
3. ならぶのは、同じグループの人でない方がいい

6) あなたのグループができたのは、いつごろですか。

1. 今のクラスになってすぐ
2. 今のクラスになってしばらくして ( ) 月ごろから

7) 今のグループをいつまでつづけたいですか。

1. なんとなく、つづくときまで
2. クラスがえまで
3. 卒業するまで
4. 一生
5. わからない

8) 今のグループの友だちの数をふやしたいですか。

1. もっとふやしたい
2. 今のままで、ちょうどいい
3. もっと少なくしたい

資料1 調査票見本

9) グループの人の名前を、だいたい、どういうふうによんでいますか。

1. ニックネーム(あだな)
2. みょうじ
3. 下の名前
4. よびすて

\*グループの人全員の「よびかた」を書いてください。

(例: たっくん、ちーちゃん、など。)

10) あなたは、グループの友だちと、どんなことをしていますか。

- |                               |   | いつも<br>する |   | ときどき<br>する |   | あまり<br>しない |   | ぜんぜん<br>しない |
|-------------------------------|---|-----------|---|------------|---|------------|---|-------------|
| 1. 学校で、休み時間にいっしょに遊ぶ.....      | 1 | _____     | 2 | _____      | 3 | _____      | 4 |             |
| 2. ほうか後残って、学校でいっしょに遊ぶ.....    | 1 | _____     | 2 | _____      | 3 | _____      | 4 |             |
| 3. ほうか後、家に帰ってからいっしょに遊ぶ.....   | 1 | _____     | 2 | _____      | 3 | _____      | 4 |             |
| 4. 日曜や休日にいっしょに遊ぶ.....         | 1 | _____     | 2 | _____      | 3 | _____      | 4 |             |
| 5. じゅくやおけいごとなどに、いっしょに行く.....  | 1 | _____     | 2 | _____      | 3 | _____      | 4 |             |
| 6. おしゃべりをする.....              | 1 | _____     | 2 | _____      | 3 | _____      | 4 |             |
| 7. 電話で話す.....                 | 1 | _____     | 2 | _____      | 3 | _____      | 4 |             |
| 8. 先生や親にはひみつにしておきたいことを話す..... | 1 | _____     | 2 | _____      | 3 | _____      | 4 |             |
| 9. こうかん日記をする.....             | 1 | _____     | 2 | _____      | 3 | _____      | 4 |             |
| 10. プリクラをいっしょに写す.....         | 1 | _____     | 2 | _____      | 3 | _____      | 4 |             |
| 11. 宿題をいっしょにする.....           | 1 | _____     | 2 | _____      | 3 | _____      | 4 |             |
| 12. おそろいのものを持つ.....           | 1 | _____     | 2 | _____      | 3 | _____      | 4 |             |

11) グループの友だちの家を知っていますか。

- 1. グループ全員の家を知っている
- 2. 知っている家が多い
- 3. ほとんど知らない

12) グループの友だちの家に遊びに行きますか。

- |                 |               |                 |
|-----------------|---------------|-----------------|
| しょっちゅう<br>遊びに行く | ときどき<br>遊びに行く | ぜんぜん<br>遊びに行かない |
| 1               | 2             | 3               |

**6** あなたのグループのふんいきについて聞きます。

1) あなたのグループは、どんなグループですか。

- |                       | とても<br>そう | わりと<br>そう | あまり<br>そうでない | ぜんぜん<br>ちがう |
|-----------------------|-----------|-----------|--------------|-------------|
| 1. みんなの気が合う.....      | 1         | 2         | 3            | 4           |
| 2. まとまっている.....       | 1         | 2         | 3            | 4           |
| 3. クラスの中で目立っている.....  | 1         | 2         | 3            | 4           |
| 4. クラスの人気者が入っている..... | 1         | 2         | 3            | 4           |
| 5. しっかりしたリーダーがいる..... | 1         | 2         | 3            | 4           |
| 6. いっしょにいたずらや悪さをする..  | 1         | 2         | 3            | 4           |
| 7. わがままなリーダーがいる.....  | 1         | 2         | 3            | 4           |

2) グループの子は、入れかわりますか。

- 1. わりと、かわる
- 2. たまに、かわることがある
- 3. かわらない

3) あなたのグループに、新しい友だちが入ってくるのは、いやですか。

- 1. はい
- 2. いいえ
- 3. 人による

## 資料1 調査票見本

4) あなたは、グループにいて楽しいですか。

とても 楽しい	まあ 楽しい	すこし つまらない	とても つまらない
1	2	3	4

5) あなたは、これからも今のグループにいたいと思いますか。

1. これからもずっと、今のグループにいたい
2. できれば別のグループに入りたい

6) あなたはなぜ、そのグループにいるのですか。

(あてはまる番号に、ぜんぶ○をつけてください。)

1. みんなと気が合うから
2. いじめられないから
3. 流行や新しいことを教えてもらえるから
4. なかよしの友だちがいるから
5. 1人は心細いから

7 つぎのような場合に、あなたはどのように思いますか。

(グループに入っていない人も、そうぞうして答えてください。)

- 1) あなたのグループの人が、他のグループからいじめられたら、あなたはどのようにしますか。
  1. 何もしない(自分がいじめられるかもしれないので)
  2. やめさせる(自分がいじめられるようになっても)
  
- 2) あなたのグループの友だちが、「お金を落としたから、千円かしてほしい」と言ってきました。お金をかしたことを親に言うと、あなたはひどくしかられます。そんなとき、あなたはどのようにしますか。
  1. わけを言って、ことわる
  2. 親にわからないように、かしてあげる

- 3) あなたのグループの友だちが、グループのみんなから、むしされているとします。  
そんなとき、あなたは どうしますか。
1. しかたがないので、自分もむしする
  2. 自分がいじめられてもいいから、話しかける
- 4) あなたのグループの子がガラスをわったとします。その子は、しかられるのがこわくて、あなたがしたと先生に言いました。あなたは どうしますか。
1. だまって、先生にしかられてあげる
  2. 「自分ではない、その子だ」と先生に言う
- 5) グループの友だちに、「他の人には言わないで」と言って話したひみつなのに、その友だちがだれかに話してしまったら、あなたは どうしますか。
1. おこって、つきあわないようにする
  2. おこるが、あやまればゆるす
  3. しかたがない(がまんする)
  4. へいき
- 6) グループの友だちに、悪口(あなたの「けっ点」など)を言われたとします。  
あなたは どうしますか。
1. おこって、つきあわないようにする
  2. おこるが、あやまればゆるす
  3. しかたがない(がまんする)
  4. へいき
- 7) 「グループの子ではない友だち」と、遊ぶやくそくをしたあとで、グループの友だちから遊びに行こうとさそわれたら、あなたは どうしますか。
1. グループの友だちをことわって、やくそくした友だちと遊ぶ
  2. やくそくした友だちをことわって、グループの友だちと遊ぶ

## 資料1 調査票見本

8 クラスでグループに入っていない人に聞きます。  
(入っている人は 9 へ進んでください。)

1) 休み時間は、たいていどうしていますか。

1. 同じクラスの友だちと遊ぶ
2. クラスのちがう友だちと遊ぶ
3. 先生と遊ぶ
4. 1人で遊ぶ

2) あなたがグループに入っていないのはどうしてですか。

1. 入りたかったけれど、なんとなく入れなかった
2. 入りたいグループがなかったから、入らなかった
3. 自分の自由がなくなるから、入らなかった
4. 入れてもらえなかった

3) どこかのグループに入りたいですか。

とても 入りたい	すこし 入りたい	どちらでも いい	あまり 入りたくない	ぜったい 入りたくない
1	2	3	4	5

4) あなたには、なかよしの友だちがいますか。

- ・その子とは、いつ、友だちになりましたか。どんなせいかくの子ですか。
- ・転校したりクラスがえで、なかよしの友だちと、わかれてしまったことがありますか。その子とのつきあいは、どうになりましたか。

友だちについて、できるだけくわしく書いてください。

9 あなたのことについて聞きます。  
あなたは、自分をどんなタイプの子だと思えますか。

	とても そう	わりと そう	あまり そうでない	ぜんぜん ちがう
1. 明るい.....	1	2	3	4
2. おとなしい.....	1	2	3	4
3. まじめ.....	1	2	3	4
4. リーダー的.....	1	2	3	4
5. 心がきづつきやすい.....	1	2	3	4
6. はじめて会う人とも、すぐに なかよくなれる.....	1	2	3	4
7. 友だちの間に、はやっている ことにびん感.....	1	2	3	4
8. 勉強がとくい.....	1	2	3	4
9. 運動がとくい.....	1	2	3	4
10. 友だちがたくさんいる.....	1	2	3	4
11. わがまま.....	1	2	3	4
12. 目立ちたがり.....	1	2	3	4
13. 友だちを、わらわせるのが じょうず.....	1	2	3	4
14. よくケンカをする.....	1	2	3	4

10 あなたのクラスのことについて聞きます。

1) あなたのクラスは、何人ですか。

男子( )人 女子( )人

2) あなたの学年は、何クラスありますか。

( )クラス

## 資料1 調査票見本

3) あなたのクラスは、どんなクラスですか。

	とても そう	わりと そう	あまり そうでない	ぜんぜん ちがう
1. みんなの気が合う.....	1	2	3	4
2. まとまっている.....	1	2	3	4
3. しっかりしたリーダーがいる.....	1	2	3	4
4. 明るく元気.....	1	2	3	4
5. いじめっ子がいる.....	1	2	3	4
6. 先生の話をよく聞く.....	1	2	3	4
7. 先生がやさしい.....	1	2	3	4

～これで終わりです。どうもありがとう。～

資料2 学年・性別集計表

サンプル数、\*以外は%。\*は平均値。サンプル数は1,566名(性別・学年不明4名)

質問項目			全 体	性 別		学 年 別			
				男 子	女 子	5 年	6 年		
サンプル数			1,566	834	728	791	771		
①	属 性 別	学 年 別	1. 5年	50.7	50.4	51.0	100.0	0.0	
			2. 6年	49.3	49.6	49.0	0.0	100.0	
		性 別	1. 男子	53.4	100.0	0.0	53.1	53.7	
			2. 女子	46.6	0.0	100.0	46.9	46.3	
	きょうだいに ついて	きょうだいの 数	自分を含めたきょうだいの数(人)	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	
			属 性 別	1. お兄さん(人)	0.4	0.4	0.3	0.4	0.4
				2. お姉さん(人)	0.3	0.3	0.4	0.3	0.3
				3. 弟(人)	0.4	0.4	0.3	0.3	0.4
				4. 妹(人)	0.4	0.4	0.3	0.4	0.4
		友 だ ち と 遊 ぶ	1. 毎日のようにある	4.1	5.1	2.9	5.2	2.9	
			2. ときどきある	39.3	38.6	40.3	43.8	34.6	
			3. ほとんどない	25.0	22.3	27.9	23.6	26.3	
	4. ぜんぜんない	31.6	34.0	28.9	27.4	36.2			
	近 所 に よ く 一 緒 に 遊 ぶ 友 だ ち が い る か	年 上 の 人 で	1. いない	61.3	58.7	64.4	53.9	68.9	
			2. 1~2人	24.9	25.6	24.1	28.7	21.0	
			3. 3~4人	7.5	7.8	7.1	8.8	6.2	
			4. 5人以上	6.3	7.9	4.4	8.6	3.9	
		年 下 の 人 で	1. いない	47.2	49.1	45.1	42.0	52.6	
			2. 1~2人	27.9	27.2	28.9	30.1	25.7	
3. 3~4人			13.0	11.9	14.0	13.7	12.2		
4. 5人以上			11.9	11.8	12.0	14.2	9.5		
同 じ 学 年 の 人 で		1. いない	18.1	16.2	20.1	15.1	21.1		
		2. 1~2人	29.0	25.8	32.8	27.8	30.3		
		3. 3~4人	21.5	21.9	21.0	22.5	20.5		
		4. 5人以上	31.4	36.1	26.1	34.6	28.1		
学 校 外 で、ク ラ ス の 人 以 外 に、仲 良 く し て い る 友 だ ち	塾	1. いる	37.6	39.6	35.3	36.9	38.3		
		2. いない	11.3	11.7	10.8	11.4	11.1		
		3. 行っていない	51.1	48.7	53.9	51.7	50.6		
	お け い こ と ヒ ヲ ノ な ど の こ と	1. いる	32.0	18.7	46.7	34.1	29.8		
		2. いない	14.1	12.4	15.9	13.1	15.2		
		3. 行っていない	53.9	68.9	37.4	52.8	55.0		
	地 域 の ス ポ ー ツ 教 室	1. いる	30.2	44.3	14.2	31.4	29.0		
		2. いない	3.1	3.8	2.2	2.6	3.6		
		3. 入っていない	66.7	51.9	83.6	66.0	67.4		
	地 域 の 子 だ ち と も ち 会	1. いる	34.7	32.1	37.7	36.3	33.1		
		2. いない	12.6	15.4	9.6	12.6	12.6		
		3. 入っていない	52.7	52.5	52.7	51.1	54.3		
セ ン タ ー 子 だ ち と も ち 文 化 や 児 童 館	1. いる	10.2	11.6	8.5	12.9	7.4			
	2. いない	14.0	14.4	13.4	14.3	13.6			
	3. 行っていない	75.8	74.0	78.1	72.8	79.0			
近 所 の 幼 な じ み	1. いる	47.7	44.5	51.4	49.8	45.6			
	2. いない	52.3	55.5	48.6	50.2	54.4			
	親 の 友 人 の 子	1. いる	58.2	54.0	62.9	62.2	54.1		
2. いない	41.8	46.0	37.1	37.8	45.9				
②	所 属	1. 入っていない	8.1	9.6	6.5	7.8	8.5		
		2. 入っている	91.9	90.4	93.5	92.2	91.5		
	入 っ て い る グ ル ー プ の 人 数 ( 人 )		5.6	6.2	4.9	5.8	5.4		
	ク ラ ス の 「 仲 良 し の 数 」	1. 全体(グループ)	5.8	5.2	6.5	5.8	5.8		
		2. 男子だけ(グループ)	3.0	2.9	3.1	3.0	3.0		
		3. 女子だけ(グループ)	3.3	3.1	3.6	3.4	3.3		
		4. 男女混合(グループ)	1.7	1.9	1.6	1.7	1.8		

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全体	性別		学年別			
			男子	女子	5年	6年		
②	クラスの仲良しグループに入っていない子	1. いる	50.0	50.1	49.8	47.3	52.8	
		2. いない	50.0	49.9	50.2	52.7	47.2	
		1. 男子(人)	2.1	2.3	1.9	2.4	1.9	
		2. 女子(人)	1.9	2.4	1.6	2.2	1.7	
③	一番仲良しの友だち	有無	1. いる	89.7	88.1	91.4	89.1	90.2
		2. いない	10.3	11.9	8.6	10.9	9.8	
		1. クラスの仲良しグループ	66.5	64.8	68.5	65.1	67.9	
		2. グループではないが同じクラス	9.9	11.9	7.5	11.2	8.7	
④	いろんな友だちのことについて	クラスの人間関係	1. 仲良しグループの友だち(人)	5.7	6.4	4.9	5.9	5.5
			2. ぶつうの友だち(人)	10.7	10.2	11.2	10.8	10.5
			3. あまり関係のない人(人)	7.3	8.0	6.4	7.2	7.3
			4. 何となく気が合わない人(人)	4.1	4.3	4.0	3.9	4.3
		「一番良しの友だち」を禁止されているものを持ってきたら	1. 先生にそのことを言う	5.6	6.6	4.5	8.7	2.4
			2. 本人に注意する	66.6	62.6	71.3	71.3	61.9
			3. 知らないふりをする	27.8	30.8	24.2	20.0	35.7
			4. 先生にそのことを言う	11.9	13.1	10.5	16.1	7.8
	クラスのことについて	帰宅後一緒に遊ぶ	1. 毎日のように遊ぶ	16.6	21.7	11.0	18.5	14.8
			2. 週に何度か遊ぶ	43.2	45.4	40.5	44.4	42.1
			3. たまに遊ぶ	29.3	25.2	34.0	27.3	31.2
			4. ほとんど遊ばない	10.9	7.7	14.5	9.8	11.9
		帰宅後一緒に遊びたい	1. とても遊びたい	36.2	37.1	35.1	37.8	34.8
			2. できれば遊びたい	44.8	44.7	44.9	46.6	43.0
			3. どちらでもいい	17.5	16.6	18.6	14.7	20.1
			4. 別の人の方がいい	1.5	1.6	1.4	0.9	2.1
学習班を組みたい	1. とても組みたい	54.8	53.3	56.1	57.7	51.9		
	2. できれば組みたい	32.0	32.8	31.4	30.1	33.9		
	3. どちらでもいい	11.6	12.4	10.8	10.7	12.5		
	4. 別の人の方がいい	1.6	1.5	1.7	1.5	1.7		
給食を一緒に食べたい	1. とても食べたい	55.0	53.0	57.0	56.6	53.4		
	2. できれば食べたい	30.3	30.7	30.0	30.0	30.6		
	3. どちらでもいい	13.3	14.7	11.8	12.1	14.5		
	4. 別の人の方がいい	1.4	1.6	1.2	1.3	1.5		
隣の席に並びたい	1. グループの誰とでも並びたい	69.8	68.0	72.0	67.3	72.2		
	2. 並びたくない人もいる	25.0	26.5	23.3	26.5	23.6		
	3. 同じグループの人でない方がいい	5.2	5.5	4.7	6.2	4.2		
まだ購入したくない	1. 今のクラスになってすぐ	51.2	54.4	47.4	55.0	47.4		
	2. 今のクラスになってしばらくして	48.8	45.6	52.6	45.0	52.6		
グループまで続けた方がいいか	1. 何となく続くときまで	22.4	23.9	20.8	17.7	26.8		
	2. クラス替えまで	3.6	4.8	2.4	6.3	1.1		
	3. 卒業するまで	18.4	20.2	16.4	20.1	16.8		
	4. 一生	34.9	31.0	39.0	37.3	32.7		
	5. わからない	20.7	20.1	21.4	18.6	22.6		
グループの数を増やしたいか	1. もっと増やしたい	34.0	33.7	34.3	36.6	31.5		
	2. 今のままでちょうどいい	63.2	63.3	63.1	60.6	65.7		
	3. もっと少なくしたい	2.8	3.0	2.6	2.8	2.8		

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全体	性別		学年別		
			男子	女子	5年	6年	
ク ラ ス の ブ ー の 仲 良 し と グ ル ー の 遊 び 方 ・ 過 ご し い 方	友だちの呼び方	1. ニックネーム(あだな)	67.5	70.5	64.2	70.8	64.4
		2. 名字	8.9	11.5	6.1	8.9	8.8
		3. 下の名前	14.8	9.1	21.2	11.5	18.0
		4. 呼び捨て	8.8	8.9	8.5	8.8	8.8
	休み時間に遊ぶ	1. いつもする	70.1	67.0	73.6	66.3	73.5
		2. ときどきする	26.2	28.7	23.2	28.9	23.7
		3. あまりしない	2.6	2.7	2.6	3.8	1.5
		4. ぜんぜんしない	1.1	1.6	0.6	1.0	1.3
	放課後学校で遊ぶ	1. いつもする	6.3	5.9	6.5	6.1	6.3
		2. ときどきする	31.5	29.6	33.8	31.1	32.0
		3. あまりしない	32.7	32.5	32.8	31.9	33.5
		4. ぜんぜんしない	29.5	32.0	26.9	30.9	28.2
	帰宅後遊ぶ	1. いつもする	17.9	23.1	12.1	19.1	16.9
		2. ときどきする	56.1	55.3	57.2	58.4	54.0
		3. あまりしない	16.8	14.9	18.7	15.8	17.6
		4. ぜんぜんしない	9.2	6.7	12.0	6.7	11.5
	日曜や休日遊ぶ	1. いつもする	11.2	15.5	6.4	12.0	10.4
		2. ときどきする	47.0	45.0	49.4	43.6	50.4
		3. あまりしない	25.3	23.6	26.9	27.1	23.4
		4. ぜんぜんしない	16.5	15.9	17.3	17.3	15.8
	塾やおけいこごとに行く	1. いつもする	8.6	9.0	8.0	8.3	8.8
		2. ときどきする	10.9	12.6	9.0	11.6	10.2
		3. あまりしない	11.5	11.7	11.5	11.1	11.9
		4. ぜんぜんしない	69.0	66.7	71.5	69.0	69.1
	おしゃべりする	1. いつもする	83.2	75.1	91.9	82.8	83.6
		2. ときどきする	12.8	19.0	6.1	13.0	12.7
		3. あまりしない	2.4	3.3	1.5	2.9	1.9
		4. ぜんぜんしない	1.6	2.6	0.5	1.3	1.8
	電話で話す	1. いつもする	11.8	8.7	15.4	12.5	11.2
		2. ときどきする	41.2	33.6	49.9	42.2	40.1
		3. あまりしない	27.6	32.7	21.5	27.4	27.8
		4. ぜんぜんしない	19.4	25.0	13.2	17.9	20.9
	秘密を話す	1. いつもする	13.7	10.6	16.9	14.8	12.5
		2. ときどきする	35.3	29.7	41.7	32.6	37.8
		3. あまりしない	27.8	29.9	25.5	27.5	28.2
		4. ぜんぜんしない	23.2	29.8	15.9	25.1	21.5
	交換日記をする	1. いつもする	16.7	1.2	33.8	14.9	18.2
		2. ときどきする	12.1	2.5	23.0	13.0	11.3
		3. あまりしない	8.6	4.9	12.7	10.8	6.6
		4. ぜんぜんしない	62.6	91.4	30.5	61.3	63.9
プリクラを写す	1. いつもする	8.6	1.2	16.7	9.1	8.0	
	2. ときどきする	29.8	10.4	51.4	29.4	30.2	
	3. あまりしない	18.6	18.7	18.4	18.1	19.1	
	4. ぜんぜんしない	43.0	69.7	13.5	43.4	42.7	
宿題をする	1. いつもする	2.1	1.1	3.2	2.0	2.1	
	2. ときどきする	22.1	13.3	32.0	23.7	20.6	
	3. あまりしない	28.4	25.3	31.4	26.3	30.3	
	4. ぜんぜんしない	47.4	60.3	33.4	48.0	47.0	
おどろきの素持	1. いつもする	6.5	3.8	9.7	8.0	5.1	
	2. ときどきする	23.3	14.7	32.6	23.1	23.6	
	3. あまりしない	25.3	21.2	30.0	25.5	25.0	
	4. ぜんぜんしない	44.9	60.3	27.7	43.4	46.3	

5

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全体	性別		学年別			
			男子	女子	5年	6年		
5	みんなの家を知っているか	1. グループ全員の家を知っている	53.6	50.3	57.3	48.9	58.2	
		2. 知っている家が多い	37.6	41.7	33.1	40.4	34.9	
		3. ほとんど知らない	8.8	8.0	9.6	10.7	6.9	
	みんなの家に行かないか	1. しょっちゅう遊びに行く	16.3	20.5	11.6	17.4	15.2	
		2. ときどき遊びに行く	71.6	70.5	72.8	71.7	71.7	
		3. ぜんぜん遊びに行かない	12.1	9.0	15.6	10.9	13.1	
6	グループの雰囲気について	みんなの気が合う	1. とてもそう	34.2	31.8	36.8	35.4	33.0
			2. わりとそう	55.8	56.5	55.0	54.6	56.9
			3. あまりそうでない	9.1	10.5	7.6	9.3	9.0
			4. ぜんぜん違う	0.9	1.2	0.6	0.7	1.1
		まとまっている	1. とてもそう	29.7	28.3	31.2	29.9	29.7
			2. わりとそう	52.9	50.7	55.3	51.1	54.4
			3. あまりそうでない	15.6	18.8	12.1	16.9	14.4
			4. ぜんぜん違う	1.8	2.2	1.4	2.1	1.5
		クラスで目立っている	1. とてもそう	18.7	22.9	13.9	17.4	19.9
			2. わりとそう	27.7	27.5	28.0	27.5	28.0
			3. あまりそうでない	42.3	37.8	47.4	42.7	41.8
			4. ぜんぜん違う	11.3	11.8	10.7	12.4	10.3
		クラスの人数が多い	1. とてもそう	29.7	35.2	23.5	29.4	30.0
			2. わりとそう	27.2	26.7	27.6	25.8	28.5
			3. あまりそうでない	27.4	22.7	32.8	25.8	28.9
			4. ぜんぜん違う	15.7	15.4	16.1	19.0	12.6
		しゃべりやすい	1. とてもそう	29.5	28.9	30.1	28.9	30.1
			2. わりとそう	23.2	21.0	25.7	20.1	26.2
			3. あまりそうでない	27.7	27.5	28.0	29.1	26.3
			4. ぜんぜん違う	19.6	22.6	16.2	21.9	17.4
		悪さをする	1. とてもそう	11.3	14.4	7.8	10.9	11.7
			2. わりとそう	16.4	18.6	13.8	14.9	17.6
			3. あまりそうでない	31.7	33.0	30.3	28.7	34.5
			4. ぜんぜん違う	40.6	34.0	48.1	45.5	36.2
		わがままな子が多い	1. とてもそう	7.9	9.0	6.8	9.5	6.5
			2. わりとそう	10.2	9.7	10.8	9.8	10.5
			3. あまりそうでない	21.1	20.3	21.8	17.8	24.1
			4. ぜんぜん違う	60.8	61.0	60.6	62.9	58.9
		メンバーの入れ替わり	1. わりとかわる	3.2	4.1	2.3	2.9	3.5
			2. たまにかわることがある	31.6	30.0	33.4	30.1	32.9
			3. かわらない	65.2	65.9	64.3	67.0	63.6
		メンバーは新規加入は嫌か	1. はい	7.7	6.9	8.8	7.2	8.3
			2. いいえ	24.5	23.4	25.9	25.4	23.7
			3. 人による	67.8	69.7	65.3	67.4	68.0
		グループにいて楽しいか	1. とても楽しい	71.4	69.6	73.3	73.1	69.6
			2. まあ楽しい	24.7	27.2	21.9	22.8	26.5
			3. 少しつまらない	3.0	2.0	4.2	2.9	3.2
			4. とてもつまらない	0.9	1.2	0.6	1.2	0.7
		グループにいたい	1. これからずっと、今のグループにいたい	94.8	93.8	95.9	94.1	95.4
			2. できれば別のグループに入りたい	5.2	6.2	4.1	5.9	4.6
		グループにいる理由	1. みんなと気が合うから	75.7	71.8	80.2	64.3	71.5
			2. いじめられないから	13.4	14.7	12.0	12.9	11.1
			3. 流行や新しいことを教えてもらえるから	30.9	31.9	29.9	28.1	27.3
			4. 仲良しの友だちがいるから	79.2	78.0	80.5	68.3	73.7
			5. 1人は心細いから	30.2	26.1	34.9	26.4	27.8

資料2 学年・性別集計表

質問項目			全 体	性 別		学 年 別		
				男 子	女 子	5 年	6 年	
7	葛藤場面での対応	いじめ	1. 何もしない	12.7	13.5	11.8	10.0	15.5
			2. やめさせる	87.3	86.5	88.2	90.0	84.5
		貸すお金を	1. わけを言って断る	76.0	74.6	77.8	83.9	68.1
			2. 親にわからないように貸してあげる	24.0	25.4	22.2	16.1	31.9
		無視	1. 仕方がないので自分も無視する	28.9	32.8	24.5	27.0	30.9
			2. 自分がいじめられてもいいから、話しかける	71.1	67.2	75.5	73.0	69.1
		ぬれぎぬ	1. 黙って先生に叱られてあげる	22.5	22.3	22.5	22.8	22.2
			2. 「自分ではない、その子だ」と先生に言う	77.5	77.7	77.5	77.2	77.8
		秘密をもら	1. 怒って、つきあわないようにする	11.5	13.0	9.7	12.0	11.1
			2. 怒るが、あやまれば許す	64.7	62.4	67.4	63.6	65.9
			3. 仕方がない(がまんする)	16.9	16.9	16.8	17.0	16.6
			4. 平気	6.9	7.7	6.1	7.4	6.4
		悪口を言	1. 怒って、つきあわないようにする	12.2	11.3	13.2	14.0	10.4
			2. 怒るが、あやまれば許す	52.3	54.1	50.1	53.8	50.8
3. 仕方がない(がまんする)	23.5		22.6	24.6	23.5	23.5		
4. 平気	12.0		12.0	12.1	8.7	15.3		
遊具約束	1. グループの友だちを断って、約束した友だちと遊ぶ	67.2	65.7	69.0	66.0	68.4		
	2. 約束した友だちを断って、グループの友だちと遊ぶ	32.8	34.3	31.0	34.0	31.6		
う休み時間ど	1. 同じクラスの友だちと遊ぶ	70.3	76.3	56.6	64.1	76.2		
	2. クラスの違う友だちと遊ぶ	11.4	7.3	21.7	12.8	10.0		
	3. 先生と遊ぶ	0.6	0.9	0.0	1.3	0.0		
	4. 1人で遊ぶ	17.7	15.5	21.7	21.8	13.8		
い入グループ理由	1. 入りたかったけれど、何となく入れなかった	36.5	35.0	39.5	36.2	36.8		
	2. 入りたいグループがなかったから、入らなかった	23.5	23.4	23.7	22.4	24.6		
	3. 自分の自由がなくなるから、入らなかった	31.3	32.5	28.9	32.8	29.8		
	4. 入れてもらえなかった	8.7	9.1	7.9	8.6	8.8		
りグループに入	1. とても入りたい	18.5	18.7	18.2	22.7	14.5		
	2. 少し入りたい	11.9	12.1	11.4	13.6	10.1		
	3. どちらでもいい	35.5	37.3	31.8	30.4	40.7		
	4. あまり入りたくない	16.3	16.5	15.9	19.7	13.0		
	5. ぜったい入りたくない	17.8	15.4	22.7	13.6	21.7		
9	明るい	1. とてもそう	34.0	33.8	34.1	33.8	34.1	
		2. わりとそう	48.2	46.9	49.7	50.5	45.9	
		3. あまりそうでない	15.6	16.6	14.5	13.4	17.9	
		4. ぜんぜん違う	2.2	2.7	1.7	2.3	2.1	
	おとなしい	1. とてもそう	4.2	4.5	3.9	4.0	4.5	
		2. わりとそう	18.2	21.1	14.9	19.3	17.1	
		3. あまりそうでない	41.1	39.5	42.8	40.4	41.6	
		4. ぜんぜん違う	36.5	34.9	38.4	36.3	36.8	
	まじめ	1. とてもそう	5.6	7.7	3.3	6.5	4.7	
		2. わりとそう	21.9	22.9	20.8	23.1	20.6	
		3. あまりそうでない	46.5	46.0	46.9	46.0	47.1	
		4. ぜんぜん違う	26.0	23.4	29.0	24.4	27.6	
	リーダー的	1. とてもそう	7.3	7.4	7.2	8.5	6.1	
		2. わりとそう	16.0	14.5	17.7	14.2	17.9	
		3. あまりそうでない	40.5	41.9	38.7	42.8	38.1	
		4. ぜんぜん違う	36.2	36.2	36.4	34.5	37.9	
心が傷つきやすい	1. とてもそう	11.3	9.6	13.4	12.5	10.2		
	2. わりとそう	23.4	19.4	27.9	22.0	24.7		
	3. あまりそうでない	41.2	41.9	40.2	41.5	40.9		
	4. ぜんぜん違う	24.1	29.1	18.5	24.0	24.2		

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	5年	6年			
9	自 分 の タ イ プ	すぐ対面で 仲良し	1. とてもそう	26.1	25.1	27.3	29.5	22.6	
			2. わりとそう	42.2	43.8	40.3	42.0	42.3	
			3. あまりそうでない	26.5	25.6	27.5	23.7	29.4	
			4. ぜんぜん違う	5.2	5.5	4.9	4.8	5.7	
		流行に敏感	1. とてもそう	18.1	17.5	18.9	20.1	16.0	
			2. わりとそう	35.7	37.9	32.9	34.4	37.0	
			3. あまりそうでない	35.9	34.8	37.2	35.8	36.1	
			4. ぜんぜん違う	10.3	9.8	11.0	9.7	10.9	
		勉強が得意	1. とてもそう	9.6	11.9	7.1	10.5	8.7	
			2. わりとそう	26.0	28.4	23.4	26.5	25.5	
			3. あまりそうでない	38.9	37.3	40.7	40.2	37.7	
			4. ぜんぜん違う	25.5	22.4	28.8	22.8	28.1	
	運動が得意	1. とてもそう	25.7	32.2	18.6	29.2	22.2		
		2. わりとそう	30.0	33.1	26.3	30.4	29.5		
		3. あまりそうでない	27.9	24.0	32.4	26.6	29.3		
		4. ぜんぜん違う	16.4	10.7	22.7	13.8	19.0		
	友だちがた くさんいる	1. とてもそう	43.2	44.3	41.9	46.7	39.5		
		2. わりとそう	41.3	41.0	41.7	38.3	44.5		
		3. あまりそうでない	13.8	13.2	14.5	13.3	14.3		
		4. ぜんぜん違う	1.7	1.5	1.9	1.7	1.7		
	わがまま	1. とてもそう	7.5	8.3	6.5	7.0	8.0		
		2. わりとそう	27.1	23.2	31.6	24.0	30.3		
		3. あまりそうでない	47.6	47.4	47.8	49.0	46.0		
		4. ぜんぜん違う	17.8	21.1	14.1	20.0	15.7		
	目立ちたがり	1. とてもそう	10.2	10.6	9.7	11.3	9.1		
		2. わりとそう	17.2	17.5	16.8	14.7	19.7		
		3. あまりそうでない	43.5	44.2	42.8	44.4	42.6		
		4. ぜんぜん違う	29.1	27.7	30.7	29.6	28.6		
友だちを笑わ せるのが上手	1. とてもそう	17.7	16.7	18.9	18.3	17.1			
	2. わりとそう	30.4	28.9	32.0	31.7	29.1			
	3. あまりそうでない	38.1	39.5	36.6	36.4	39.9			
	4. ぜんぜん違う	13.8	14.9	12.5	13.6	13.9			
をよくケンカ をする	1. とてもそう	6.4	7.2	5.5	6.8	6.0			
	2. わりとそう	16.2	17.9	14.1	14.5	17.8			
	3. あまりそうでない	42.4	40.9	44.3	43.4	41.6			
	4. ぜんぜん違う	35.0	34.0	36.1	35.3	34.6			
10	ク ラ ス に つ い て	人数	1. 男子(人)	18.1	18.3	17.8	18.2	18.0	*
			2. 女子(人)	15.7	15.5	15.9	15.7	15.7	*
	学年のクラス数(クラス)		3.1	3.1	3.1	3.0	3.1	*	
	ど んな ク ラ ス か	みんなの 気が合う	1. とてもそう	10.6	12.6	8.4	11.4	9.8	
			2. わりとそう	47.3	46.5	48.0	46.6	47.9	
			3. あまりそうでない	36.4	34.4	38.7	36.7	36.1	
			4. ぜんぜん違う	5.7	6.5	4.9	5.3	6.2	
	ま と ま っ て い る	1. とてもそう	9.5	10.2	8.8	8.9	10.2		
		2. わりとそう	37.1	35.4	39.1	38.1	36.2		
		3. あまりそうでない	44.3	44.6	43.7	44.8	43.5		
		4. ぜんぜん違う	9.1	9.8	8.4	8.2	10.1		
し っ か り に い る	1. とてもそう	23.5	23.1	23.8	26.0	20.9			
	2. わりとそう	33.6	29.7	38.2	33.1	34.2			
	3. あまりそうでない	31.6	32.8	30.2	30.0	33.3			
	4. ぜんぜん違う	11.3	14.4	7.8	10.9	11.6			

## 資料2 学年・性別集計表

質問項目			全 体	性 別		学 年 別			
				男 子	女 子	5 年	6 年		
10	ク ラ ス に ク ラ ス か つ い て	ど らん な く ら い か	明 る く 元 気	1. とてもそう	53.8	54.0	53.7	55.0	52.6
				2. わりとそう	39.2	38.9	39.5	38.5	39.9
				3. あまりそうでない	5.6	5.5	5.7	5.3	5.9
				4. ぜんぜん違う	1.4	1.6	1.1	1.2	1.6
			が い じ め つ 子	1. とてもそう	10.9	13.9	7.5	13.5	8.2
				2. わりとそう	22.1	20.2	24.2	23.4	20.7
				3. あまりそうでない	41.7	40.2	43.5	37.6	46.0
				4. ぜんぜん違う	25.3	25.7	24.8	25.5	25.1
			よ く 聞 く 話 を	1. とてもそう	4.3	5.2	3.2	4.1	4.4
				2. わりとそう	33.2	35.2	30.8	39.0	27.4
				3. あまりそうでない	49.4	46.6	52.9	49.6	49.3
				4. ぜんぜん違う	13.1	13.0	13.1	7.3	18.9
			し 先 生 が や さ	1. とてもそう	20.5	21.2	19.6	24.2	16.7
				2. わりとそう	37.0	34.5	40.1	37.7	36.6
				3. あまりそうでない	23.7	22.8	24.7	23.0	24.4
				4. ぜんぜん違う	18.8	21.5	15.6	15.1	22.3